



関係する地方公共団体等の意見

安芸バイパスは、東広島バイパスと一体となって国道2号の慢性的な交通渋滞解消、地域活動や広域連携の強化、東西軸の形成、広島空港とのアクセス強化、広島広域都市圏の交流促進を果たすことが期待されており、東広島市より「平成26年度主要事業の提案」（平成25年7月19日）において建設促進の要望を受けている。

広島県知事の意見：

対応方針(原案)については妥当  
 一般国道2号の慢性的渋滞の緩和、地域経済・産業の発展や空港アクセス向上のため、早期整備が必要であり、計画的に整備を進めていただきたい。

広島市長の意見：

対応方針(原案)については異存なし  
 一般国道2号の渋滞緩和、空港アクセス強化のためにも、海田高架橋を含め全線の早期供用に向け着実に整備を進めていただきたい。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・ 国道2号は広島市街地と東広島市方面を結ぶ唯一の幹線道路であり、慢性的な交通渋滞の発生により、日常生活や経済活動の支障となっている。
- ・ 広島空港への機能集約と広島西飛行場のヘリポート化により、広島市から広島空港へのアクセス向上が求められている。
- ・ 道路線形不良箇所が存在により、交通事故が多く発生している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成24年度末で用地買収は約85%完了している。また、工事の進捗は24%完了している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き早期全線開通を目指し事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

橋梁上部工への少本数主桁構造の採用により、総合的なコストの削減を図っている。

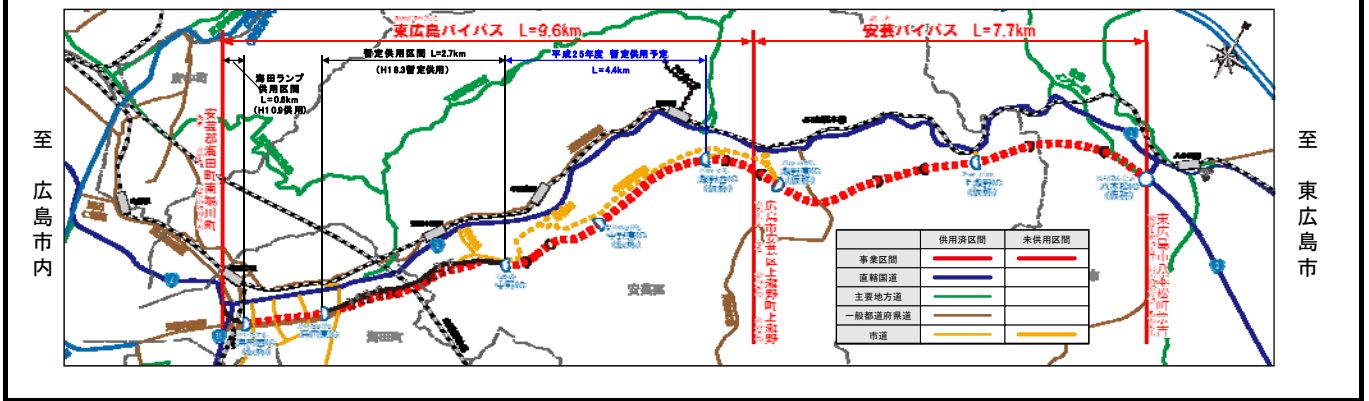
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

## 道路建設事業の再評価項目調書

<b>事業名</b> 一般国道2号 <small>ひがしひろしま</small> 東広島バイパス	<b>事業区分</b>	一般国道	<b>事業主体</b>	国土交通省 中国地方整備局	
<b>起終点</b> 自：広島県広島市安芸区上瀬野町上瀬野 至：広島県安芸郡海田町南堀川町			<b>延長</b>	9.6km	
<b>事業概要</b> 一般国道2号は、 <small>おおさか</small> 大阪市から <small>きたきゅうしゅう</small> 北九州市に至る延長約670kmの主要な幹線道路であり、西日本の大動脈として沿道地域の産業・社会活動や住民の生活に大きな役割を果たす重要な路線である。 <small>ひがしひろしま</small> 東広島バイパスは、国道2号の慢性的な交通混雑の緩和、交通安全の確保、周辺地域との連携強化を図ることを目的とした延長9.6kmの4車線道路である。					
S50年度事業化	S49年度都市計画決定	S57年度用地着手	H5年度工事着手		
<b>全体事業費</b>	約1,160億円	<b>事業進捗率</b> (H24年度末現在)	70%	<b>供用済延長</b>	2.7km
<b>計画交通量</b>	49,300~66,400台/日				
<b>費用対効果分析結果</b>	B/C (事業全体) 2.3 (残事業) 8.6	(3便益) 総費用 273 / 1,445 億円 事業費 : 242/1,406億円 維持管理費 : 31/39億円	(残事業)/(事業全体) 総便益 2,361 / 3,327億円 走行時間短縮便益 : 2,100/2,751億円 走行費用減少便益 : 216/464億円 交通事故減少便益 : 45/112億円	基準年 平成25年	
<b>感度分析の結果</b>					
(事業全体) 交通量 : B/C=1.8~2.8(交通量±10%)		(残事業) 交通量 : B/C=7.6~10.0(交通量±10%)			
事業費 : B/C=2.3~2.3(事業費±10%)		事業費 : B/C=7.9~9.5(事業費±10%)			
事業期間 : B/C=2.1~2.5(事業期間±20%)		事業期間 : B/C=7.9~9.5(事業期間±20%)			
<b>事業の効果等</b>					
①円滑なモビリティの確保					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・損失時間の削減が見込まれる【約124,120千人・時間/年→約117,881千人・時間/年】</li> <li>・利便性の向上が期待できるバス路線が存在する 【広島～瀬野～西条 77便/日、阿戸線 17便/日、東雲線 10便/日】</li> <li>・広島市安芸区役所から東広島駅（新幹線停車駅）へのアクセスが向上 【広島市安芸区役所～東広島駅 : 61分⇒44分】</li> <li>・広島市安芸区役所から広島空港へのアクセスが向上【広島市安芸区役所～広島空港 : 80分⇒64分】</li> </ul>					
②物流効率化の支援					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東広島市から広島港（特定重要港湾）までのアクセスが向上【東広島市役所～広島港 : 72分⇒55分】</li> </ul>					
③都市の再生					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該路線は中心市街地（DID地区内）内の事業</li> <li>・都市計画道路密度が向上【1.0km/km<sup>2</sup>→1.7km/km<sup>2</sup>】</li> </ul>					
④国土・地域ネットワークの構築					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域高規格道路「東広島廿日市道路」の一部として位置付け</li> <li>・日常活動圏の中心都市へのアクセスが向上【東広島市役所～広島市役所 : 85分⇒69分】</li> </ul>					
⑤個性ある地域の形成					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点開発プロジェクトを支援【広島中央テクノポリス】</li> </ul>					
⑥安全で安心できるくらしの確保					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・三次医療施設へのアクセスが向上【東広島市役所～県立広島病院 : 42分⇒34分】</li> </ul>					
⑦災害への備え					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・広島県の第1次緊急輸送道路に指定（一般国道2号）</li> <li>・交通事故・災害による通行止め時の迂回路の確保【4.82億円※】</li> </ul>					
⑧地球環境の保全					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO<sub>2</sub>排出量が約56.6千t/年(約1.3%)削減【4,358.1千t/年→4,301.5千t/年】</li> </ul>					
⑨生活環境の改善・保全					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・NO<sub>x</sub>排出量が約242.8t/年(約2.1%)削減【11,776.3t/年→11,533.4t/年】</li> <li>・SPM排出量が約11.9t/年(約1.9%)削減【613.5t/年→601.6t/年】</li> <li>・広島市安芸区中野東における昼間および夜間の騒音が改善される見込み</li> </ul>					

⑩環境への影響を考慮した効果

- ・約 56.6 千 t/年の CO2 削減量の貨幣換算値【23.2 億円※】

⑪交通事故件数の削減

- ・交通事故件数が約 1.1%削減【12,241 件/年→12,104 件/年】

※供用後 50 年間の便益額として試算した値（参考値）

関係する地方公共団体等の意見

安芸バイパスは、東広島バイパスと一体となって国道 2 号の慢性的な交通渋滞解消、地域活動や広域連携の強化、東西軸の形成、広島空港とのアクセス強化、広島広域都市圏の交流促進を果たすことが期待されており、東広島市より「平成 26 年度主要事業の提案」（平成 25 年 7 月 19 日）において建設促進の要望を受けている。

広島県知事の意見：

対応方針（原案）については妥当

一般国道 2 号の慢性的渋滞の緩和、地域経済・産業の発展や空港アクセス向上のため、早期整備が必要であり、計画的に整備を進めていただきたい。

広島市長の意見：

対応方針（原案）については異存なし

一般国道 2 号の渋滞緩和、空港アクセス強化のためにも、海田高架橋を含め全線の早期供用に向け着実に整備を進めていただきたい。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・国道 2 号は広島市街地と東広島市方面を結ぶ唯一の幹線道路であり、慢性的な交通渋滞の発生により、日常生活や経済活動の支障となっている。
- ・広島空港への機能集約と広島西飛行場のヘリポート化により、広島市から広島空港へのアクセス向上が求められている。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・平成 24 年度末で用地買収は約 99%完了している。また、工事の進捗は 55%完了している。
- ・現在までに「中野 IC～海田東 IC（L=2.7km）」及び「ランプ部（L=0.6km）」が開通している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

投資効果の早期発現を図るため段階的に暫定 2 車線にて開通しており、瀬野西 IC（仮称）～中野 IC 間は平成 25 年度の供用（暫定 2 車線）を予定している。

施設の構造や工法の変更等

橋梁上部工への少本数主桁構造の採用により、総合的なコストの縮減を図っている。

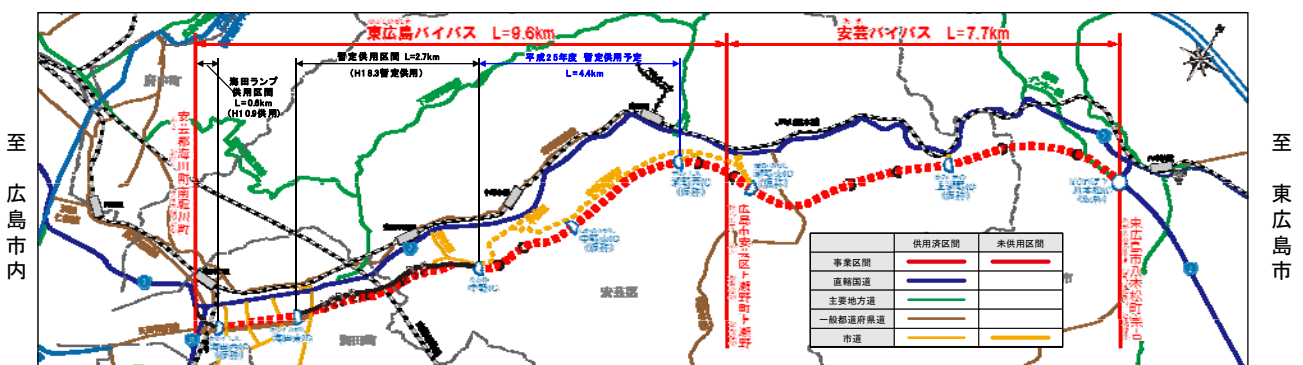
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。



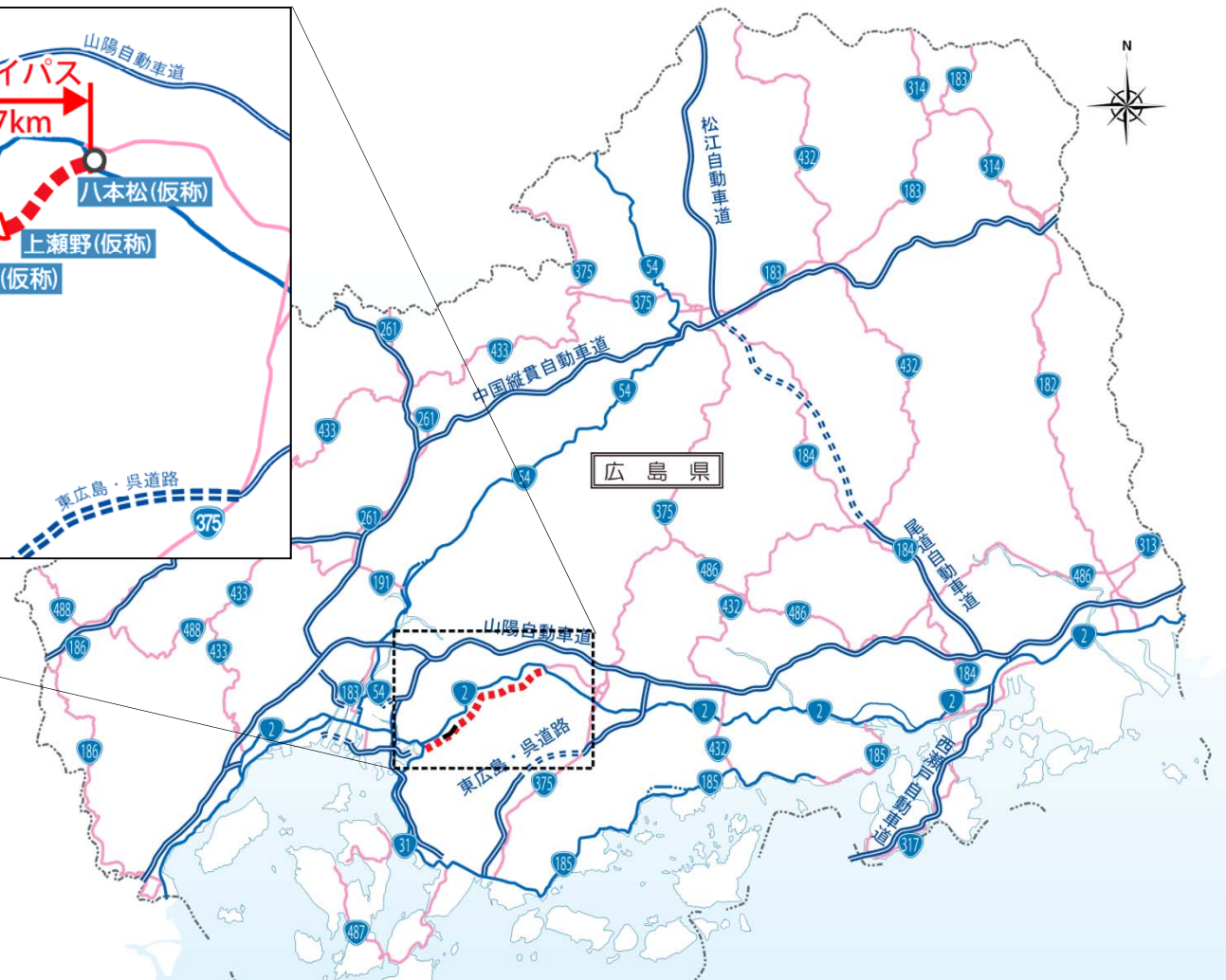
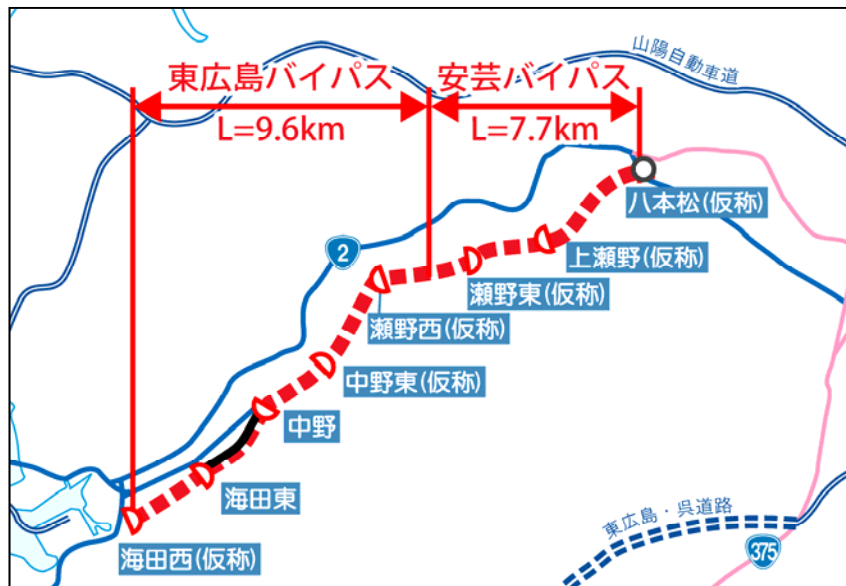
一般国道2号 <sup>あき</sup>安芸バイパス  
一般国道2号 <sup>ひがしひろしま</sup>東広島バイパス  
事業再評価

平成25年8月

国土交通省 中国地方整備局

# 1. 位置図

- 一般国道2号は、大阪市を起点とし、瀬戸内海沿岸の諸都市を連絡し、北九州市に至る延長約670kmの主要幹線道路である。
- 安芸バイパス・東広島バイパスは、東広島市八本松町から安芸郡海田町に至る延長17.3km(安芸バイパス7.7km・東広島バイパス9.6km)の一般国道2号のバイパスである。



凡 例	
高規格幹線道路	—— (供用済)
有料道路	—— (事業中)
直轄国道	—— (供用済)
補助国道	——

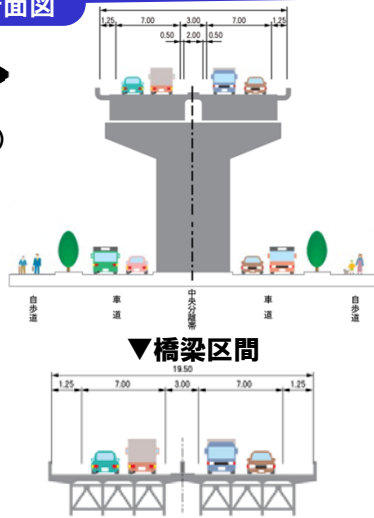
# 2. 事業概要及び経緯

## (1) 事業概要

・安芸バイパス、東広島バイパスは 国道2号の交通混雑の緩和、交通安全の確保、周辺地域との連携強化等を目的とした道路である。

標準断面図

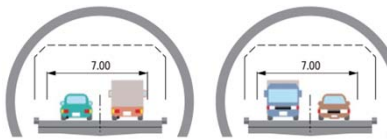
海田地区▶  
(東広島バイパス)



▼土工区間

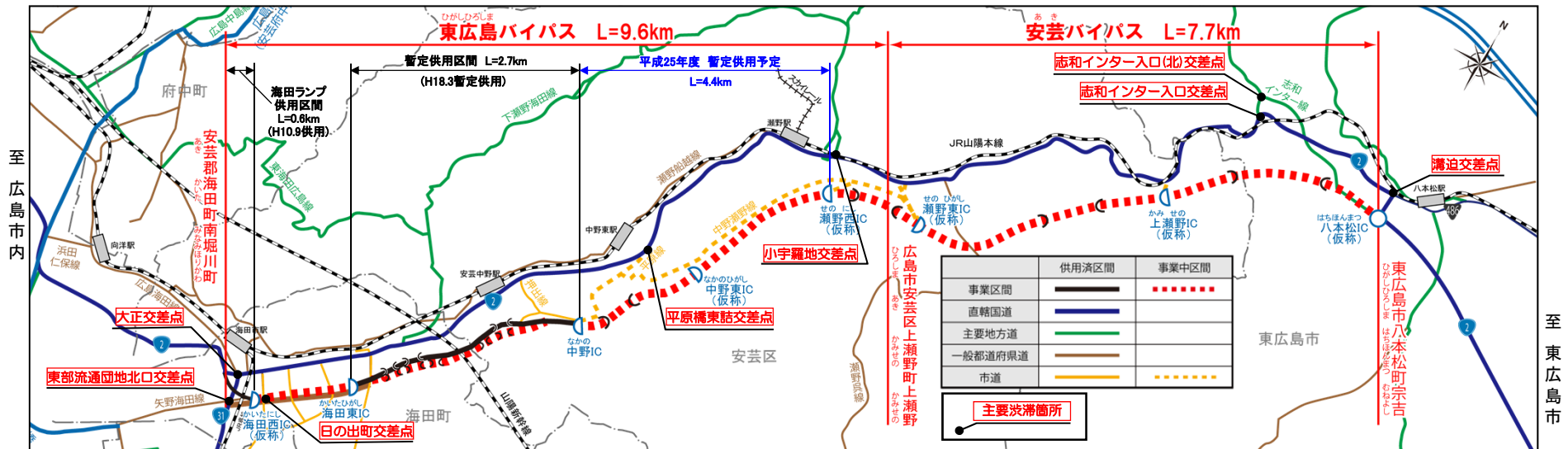


▼トンネル区間



計画概要

路線名	東広島バイパス	安芸バイパス
起終点	起点：広島市安芸区上瀬野町上瀬野 終点：安芸郡海田町南堀川町	起点：東広島市八本松町宗吉 終点：広島市安芸区上瀬野町上瀬野
計画延長	L=9.6km	L=7.7km
道路規格	第1種第3級	第1種第3級
設計速度	設計速度80km/h	設計速度80km/h
車線数	4車線	4車線

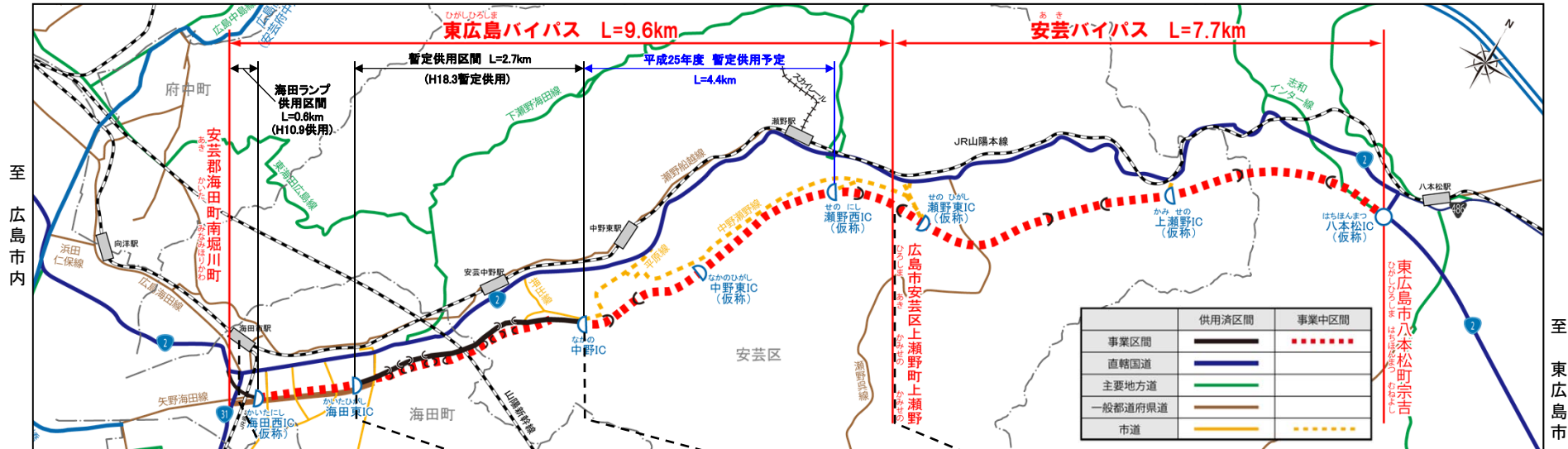


# 2. 事業概要及び経緯

一般国道2号 安芸バイパス  
一般国道2号 東広島バイパス

## (2) 事業の経緯

- 東広島バイパスは昭和50年度に事業着手し、平成10年度に海田ランプ、平成17年度に中野IC～海田東ICを供用している。安芸バイパスは平成7年度に事業着手している。



区間	海田町曾田 ～海田町南堀川町	安芸区中野東 ～海田町曾田	安芸区上瀬野 ～安芸区中野東	東広島市八本松町崇告～ ～安芸区上瀬野
昭和49年度		都市計画決定		都市計画決定
昭和50年度		事業化		
昭和57年度		用地着手		
平成5年度		工事着手		
平成7年度				事業化
平成8年度		都市計画変更（自動車専用道路へ変更）		
平成9年度				用地着手
平成10年度	海田ランプ供用			
平成12年度				工事着手
平成14年度	中国地方整備局事業評価監視委員会にて、再評価を実施			
平成17年度		中野IC～海田東IC (H18.3.25 2/4車供用)		
平成18年度	都市計画変更(有料から無料による都市計画変更)			
平成19年度	中国地方整備局事業評価監視委員会にて、再評価を実施			
平成22年度	中国地方整備局事業評価監視委員会にて、再評価を実施			



## 2. 事業概要及び経緯

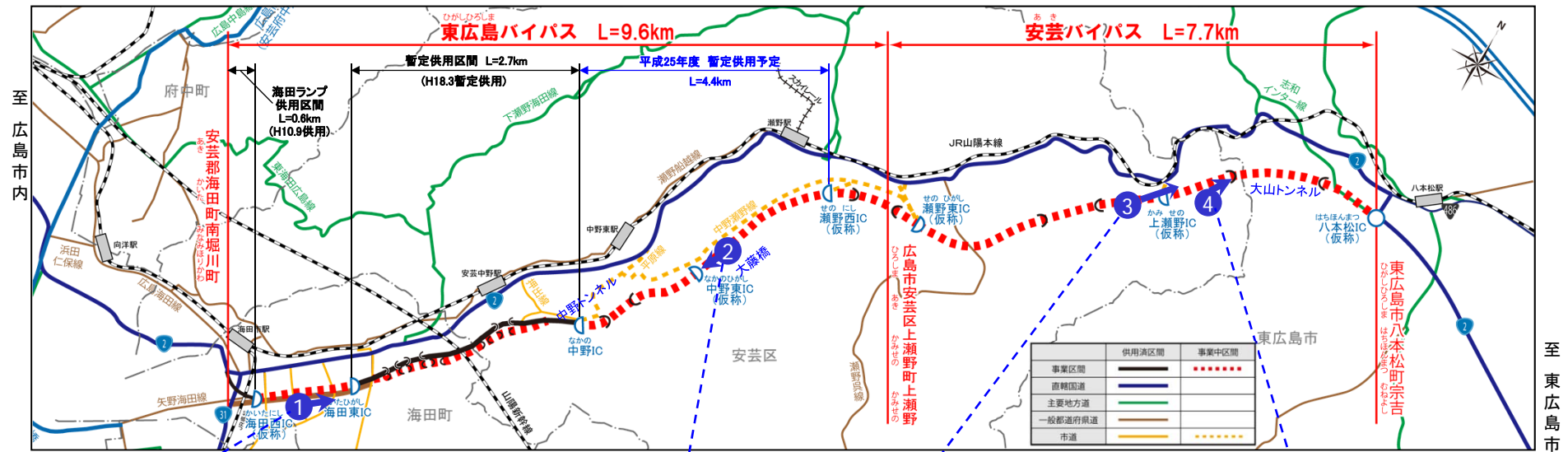
### (3) 工事の進捗状況

- 東広島バイパスの用地買収は99%完了しており、平成25年度の瀬野西IC(仮称)～中野ICの供用を目指し工事を推進している。
- 安芸バイパスの用地買収は85%完了しており、用地買収、工事を推進している。

●事業全体の進捗状況(平成25年3月時点)

東広島バイパス			安芸バイパス		
用地	工事	全体	用地	工事	全体
99%	55%	70%	85%	24%	34%

※事業費に対する割合



①東広島バイパス  
海田東IC付近から部分供用区間を望む



②東広島バイパス (H25年度供用予定区間)  
中野東IC(仮称)付近を広島市内方向を望む



③安芸バイパス  
大山高架橋付近から東広島方向を望む

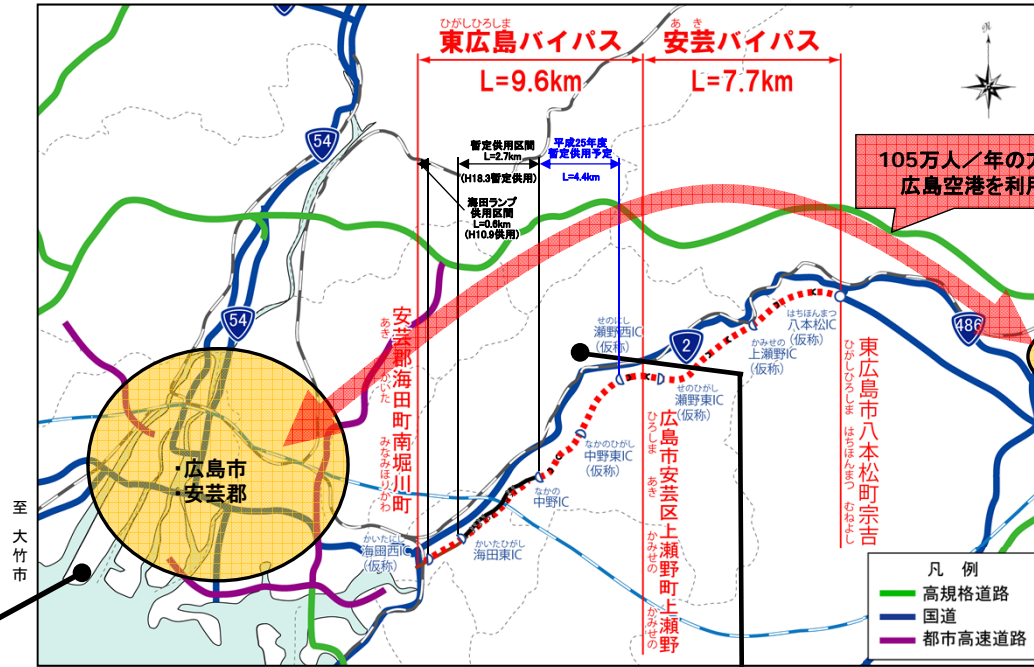


④安芸バイパス  
大山トンネル起点側を望む

※構造物名は仮称

# 3. 前回評価時からの主な周辺状況の変化

- 広島空港への機能集約と広島西飛行場のヘリポート化により、広島市から広島空港へのアクセス向上が必要。
- 事業区間周辺では、定住人口の増加に伴いみどり坂小学校が開校。



105万人/年の方が  
広島空港を利用

至広島空港  
(八本松IC(仮称)から約29km付近)

出典：空港利用客数は、以下より算定  
空港管理状況調査（国土交通省航空局）  
広島県空港振興協議会資料（H23.3）

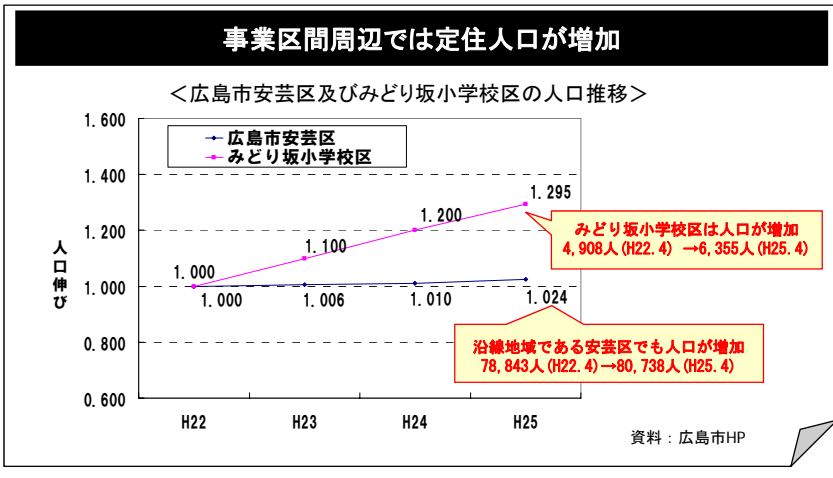
### 広島空港へのアクセス向上(広島西飛行場のヘリポート化 (H24.11.15))

平成23年5月27日に開催されました広島県知事・広島市長会議において、次の2点について、県市が連携の強化を図るということを知事との間で合意するとともに、**広島空港への機能集約**と広島西飛行場のヘリポート化という県の方針を了解しました。

(1) 今後とも、広島空港の機能強化と合わせ広島空港へのアクセスの向上に積極的に取り組む。

(2) 広島西飛行場をヘリポート化した後に発生する広大な跡地利用について、市が検討を進め、県は市に協力して検討する。

資料：広島県HP



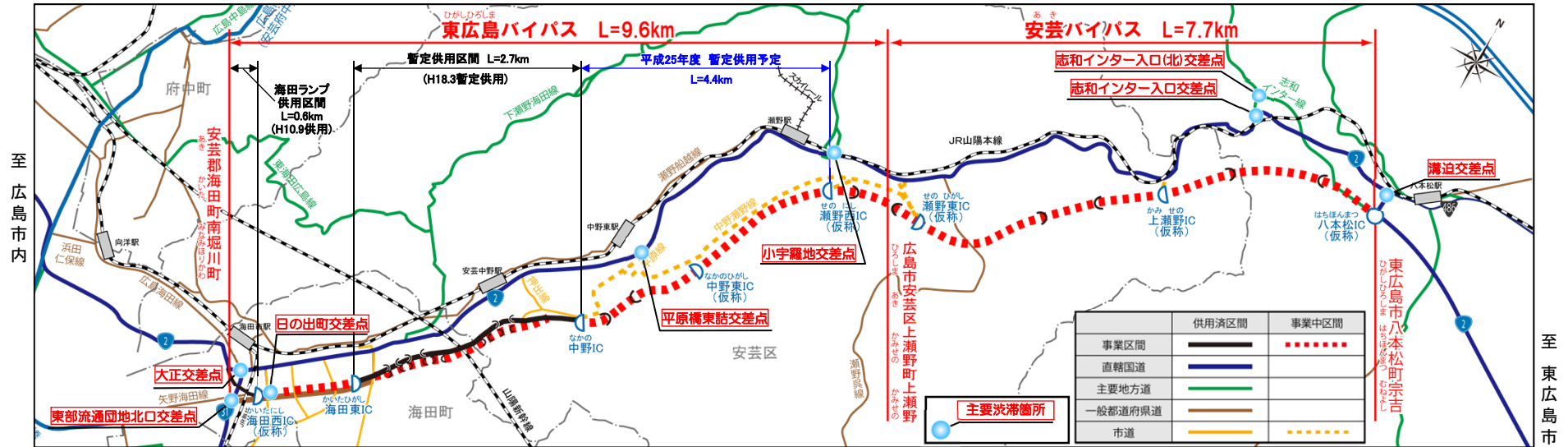
### みどり坂小学校開校(H23.4.1)

平成9年にみどり坂団地への入居が始まり人口が増えていくにつれて児童数が増え続けた。そのため瀬野小学校から分離することとなった。**これからさらにみどり坂小学校の児童数が増加していくことが予想される。**

資料：みどり坂小学校HP



# 4. 地域から期待される道路の役割（効果）



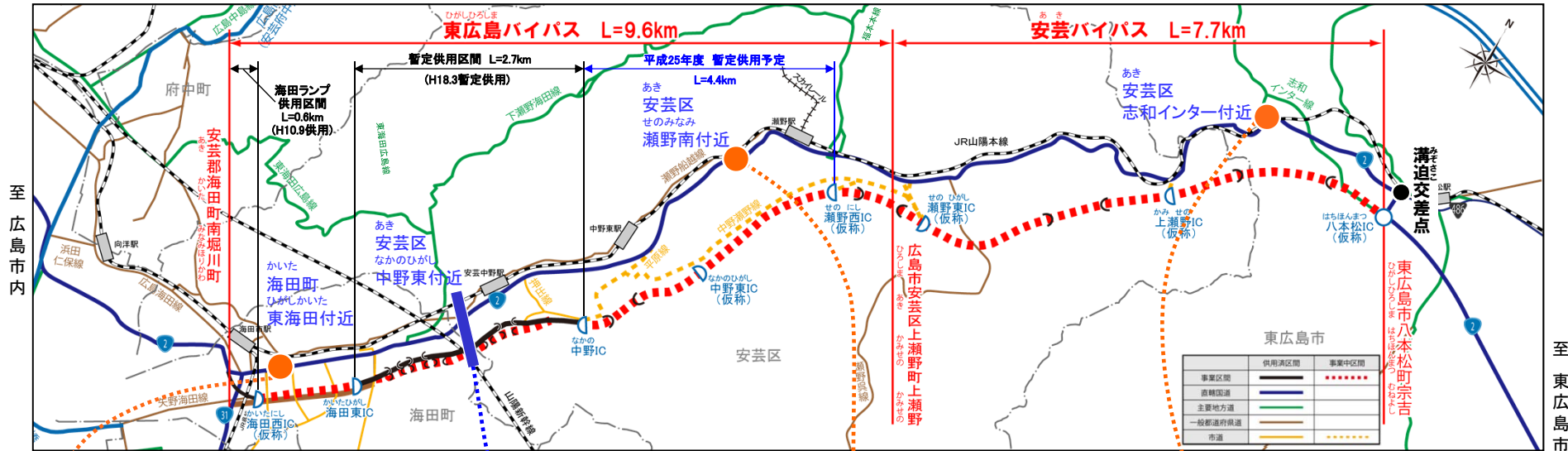
## <期待される道路の役割(効果)>

課題① 国道2号で発生する渋滞	混雑度の低減及び渋滞の緩和
課題② 国道2号で発生する交通事故	交通事故件数の削減
課題③ 道路線形不良箇所等の存在	道路線形不良箇所等の解消による走行安全性等の確保
課題④ 山陽自動車道等の通行止めによる国道2号への負荷	代替性機能の確保
課題⑤ 物流の効率化（広島港・東広島市域の工業団地間の輸送効率の向上）	走行時間短縮による物流効率化の確保
課題⑥ 地域間ネットワークの構築	走行時間短縮による地域間交流の支援
課題⑦ 高次医療施設への救急搬送	搬送時間の短縮による救急搬送の効率化

# 4. 地域から期待される道路の役割（効果）

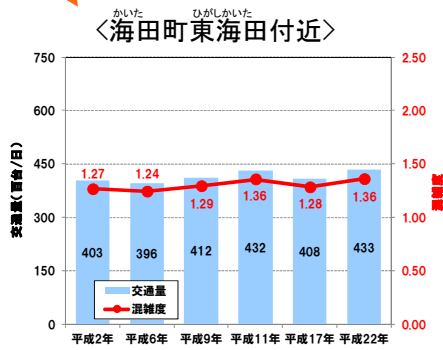
## 課題① 国道2号で発生する渋滞（交通量の推移）

- 国道2号は広島市街地と東広島市方面を結ぶ唯一の幹線道路であり、海田・中野地区で約40,000台/日、瀬野地区で約30,000台/日と交通量が多い。
- 特にバイパス未供用区間の国道2号は車線数が2車線のため、混雑度が1.5を超える高い状況。



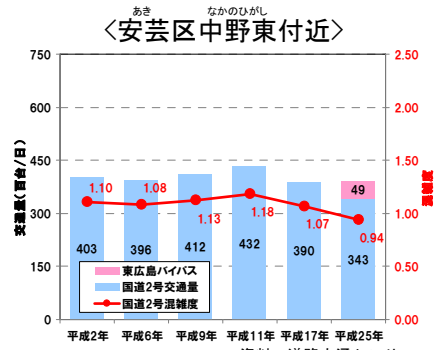
### 未供用区間の混雑度と交通量推移

<国道2号4車線区間>



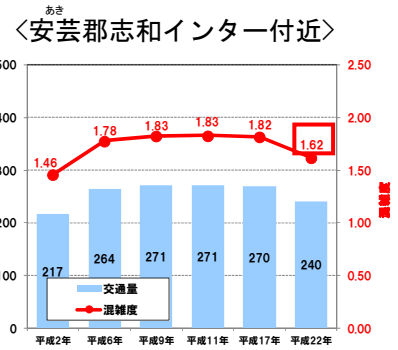
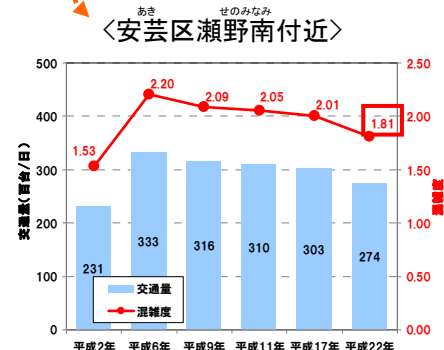
### 暫定供用区間の混雑度と交通量推移

<国道2号4車線区間>



### 未供用区間の混雑度と交通量推移

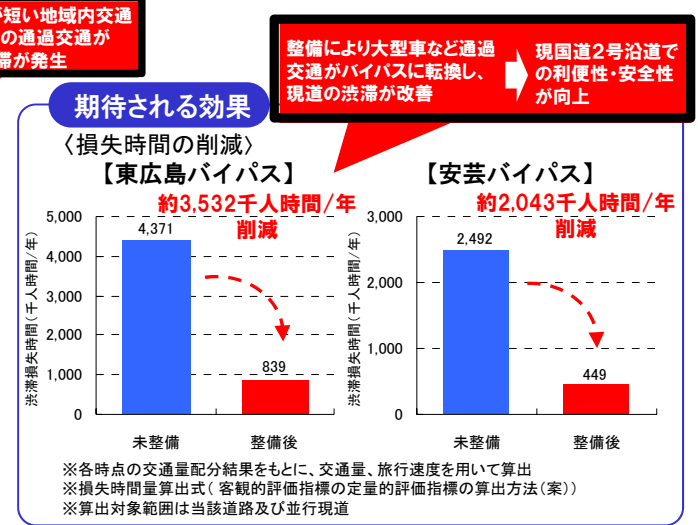
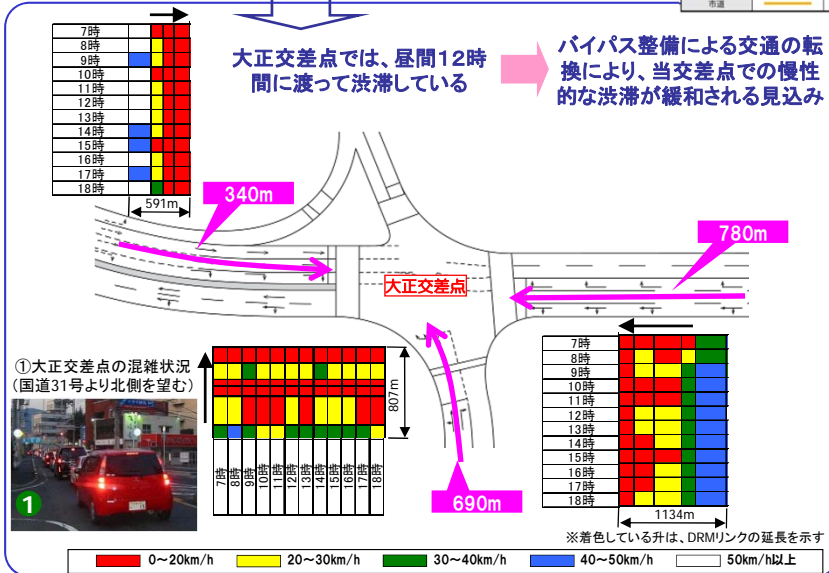
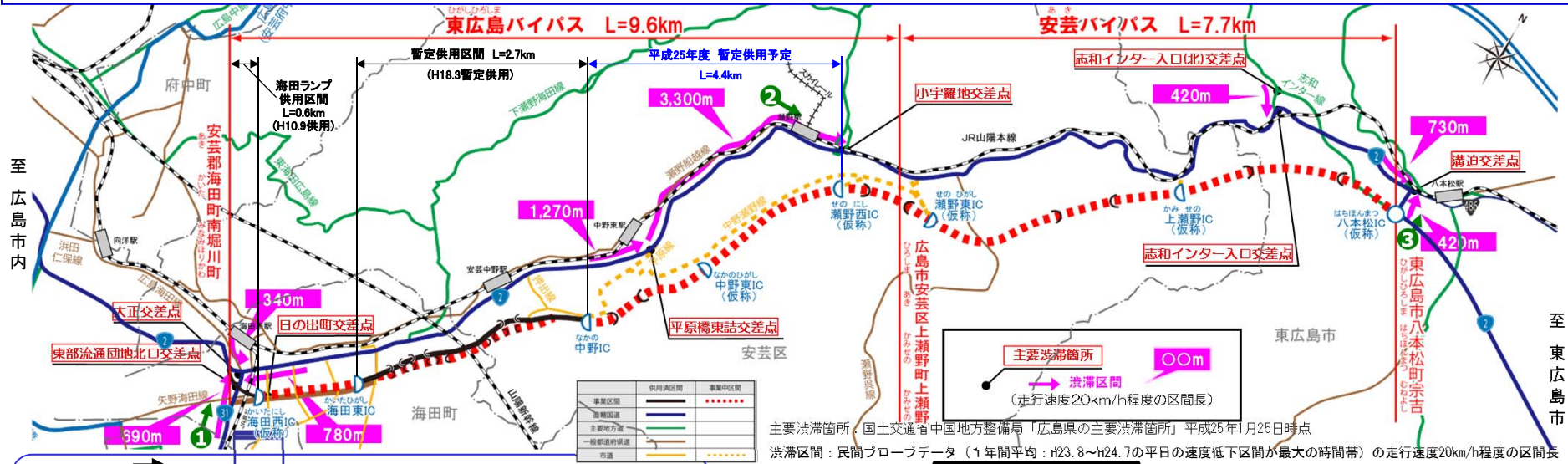
<国道2号2車線区間>



# 4. 地域から期待される道路の役割（効果）

## 課題① 国道2号で発生する渋滞

- 国道2号の主要渋滞箇所では、交通集中による渋滞が発生。バイパス未供用部の並行区間に位置する小宇羅地交差点では約3kmを越える渋滞が発生。また、バイパス整備により大正交差点の慢性的な渋滞が緩和される見込み。
- 現在の国道2号では、大型車等の通過交通転換に伴う交通混雑緩和により、利便性向上や安全性向上も期待される。





# 4. 地域から期待される道路の役割（効果）

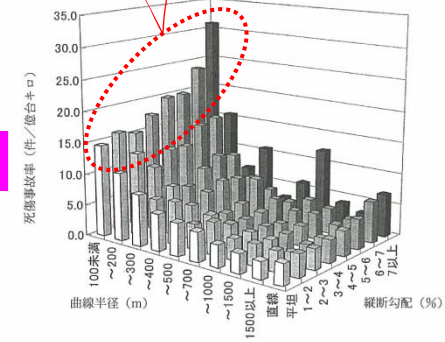
## 課題② 国道2号で発生する交通事故

- バイパスに並行する国道2号では渋滞等による停車車両への追突事故が多発している。また、安芸バイパスの並行区間では線形不良箇所での正面衝突事故が多く発生している。
- バイパスの整備により交通転換が図られることで、死傷事故件数の削減が期待される。

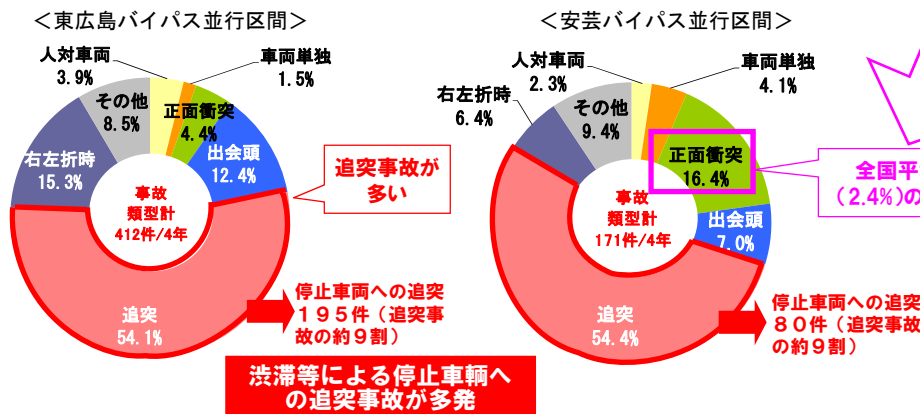


### (参考)線形不良と交通事故との関係

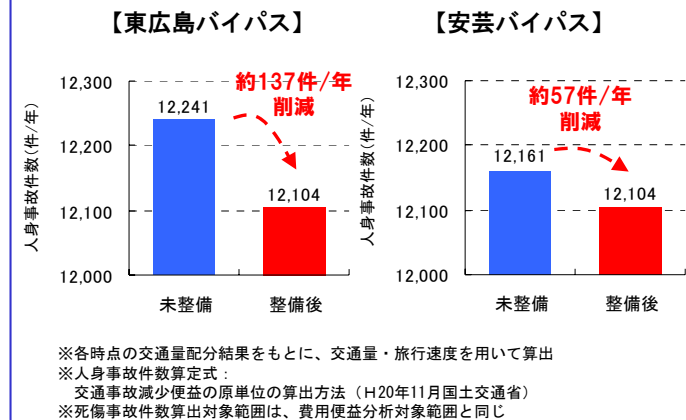
平面線形が悪い箇所では、事故の発生確率が高い



### 国道2号における事故類型



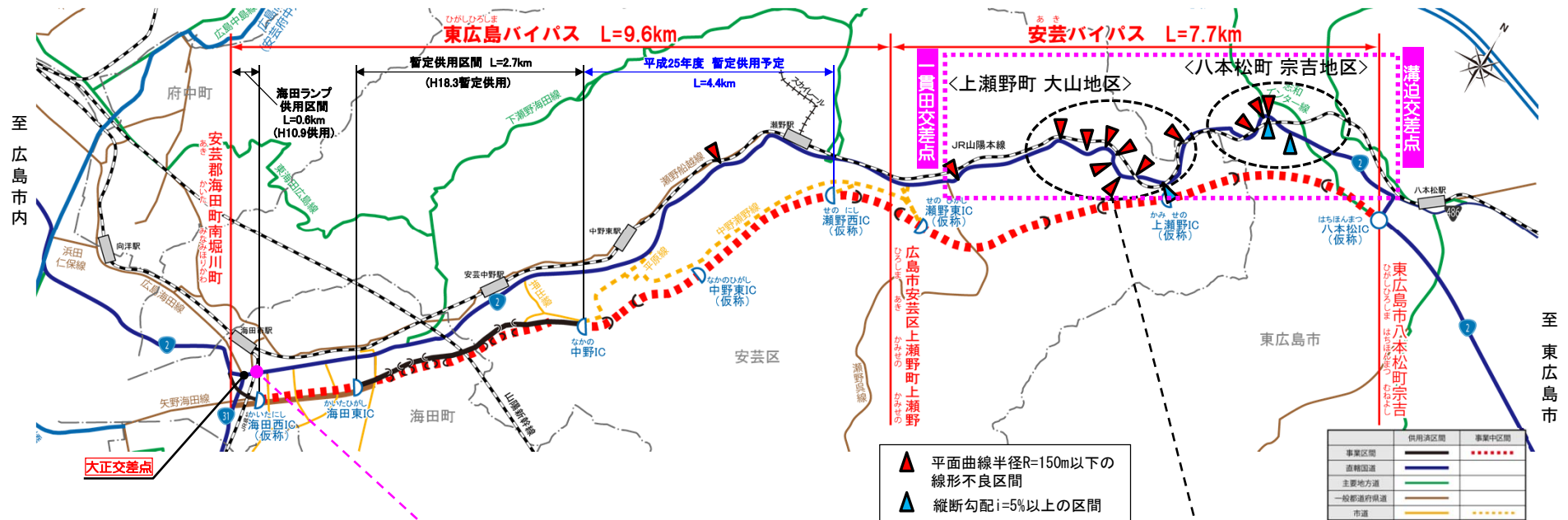
### 死傷事故件数の削減効果



# 4. 地域から期待される道路の役割（効果）

## 課題③ 道路線形不良箇所等の存在

- 国道2号の溝迫交差点から一貫田交差点の区間は、線形不良箇所を抱えており、正面衝突による交通事故が多く発生している。
- 国道2号大正交差点東のアンダーパス部では、路面冠水による通行不良が発生している。





# 4. 地域から期待される道路の役割（効果）

## 課題④ 山陽自動車道等の通行止めによる国道2号への負荷

- 山陽自動車道が通行止めになった場合は国道2号が迂回路としての機能を担うが、交通容量の不足により迂回交通を処理できず、東西交通が麻痺する状況が発生。
- また、山陽自動車道に交通集中が生じた場合には広島空港行きリムジンバスの運行休止等の問題も生じている。
- バイパス整備により代替性の強化が期待される。

### 〔現状〕

山陽自動車道が通行止めとなった際には並行する国道2号が迂回路としての機能を担うが、国道2号への交通の集中が著しいため、渋滞発生により東西交通が麻痺し生活・経済活動に影響を与えている。



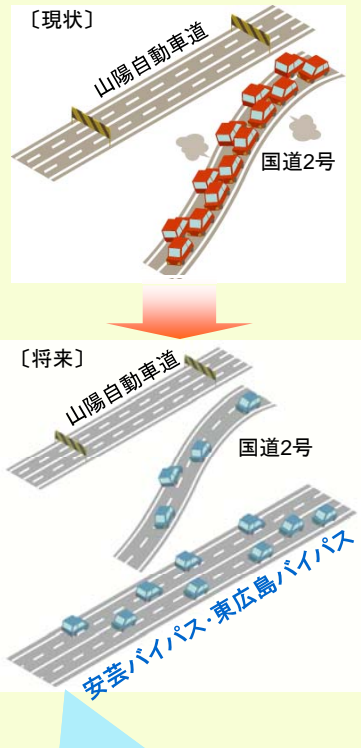
### ＜交通集中期間（お盆期間中）の状況＞

山陽自動車道では、平成24年のお盆期間中（8/8～16日）、交通事故の発生等により著しい渋滞が発生した（10km以上の渋滞発生件数22件、最大渋滞長42km）。

また、事故や渋滞の影響により、広島空港と広島市中心部を結ぶリムジンバスが、8/10～8/12日の3日間で166便が運休。

### 〔将来〕

バイパス整備により、交通容量が増加するため、代替性の確保が期待される。



交通容量が増加するため、より多くの交通処理が可能。



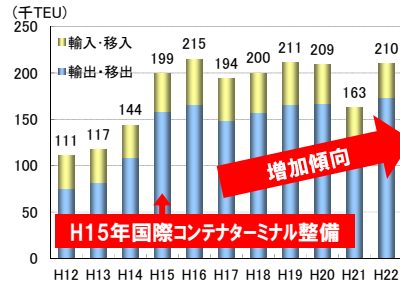
# 4. 地域から期待される道路の役割（効果）

## 課題⑤ 物流の効率化（広島港・東広島市域の工業団地間の輸送効率の向上）

- 東広島市内には多くの工業団地が集積し、広島港からのコンテナ取扱量は広島市に次いで多い地域である。
- 道路整備により、広島港国際コンテナターミナルからの所要時間の短縮や定時性の向上により、物流の効率化が期待される。

### 広島港の物流活動

＜広島港の外易コンテナ取扱量の推移＞

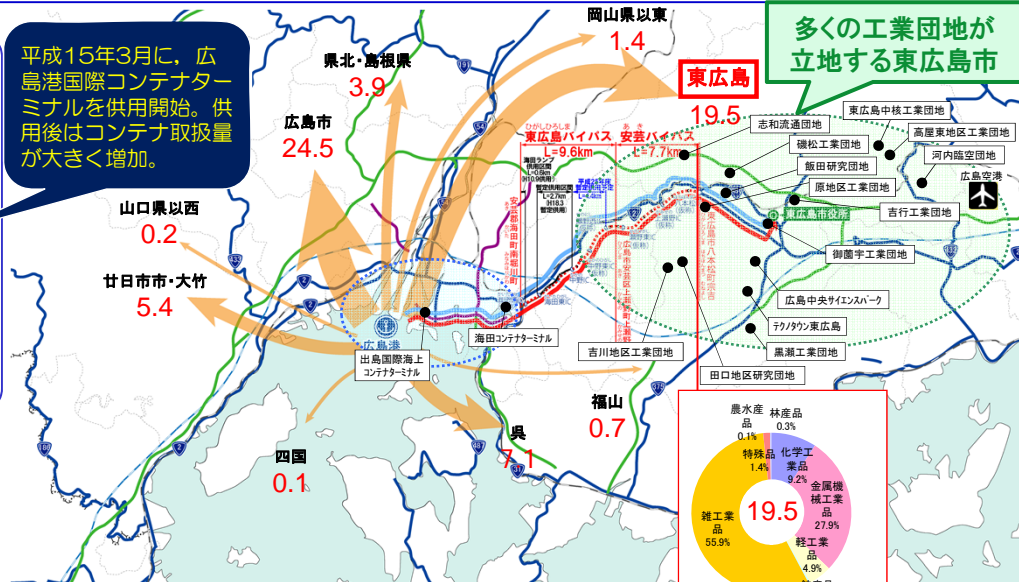


資料：広島港振興協会



広島港国際コンテナターミナル

平成15年3月に、広島港国際コンテナターミナルを供用開始。供用後はコンテナ取扱量が大きく増加。



多くの工業団地が立地する東広島市



東広島中核工業団地

資料/平成20年度全国輸出入コンテナ貨物流動調査  
陸上流動のみ対象(単位:フレート・トン※)

※フレート・トン:容積又は重量のどちらか大きいほうを貨物数量に換算した単位で、容積は1.133立法メートル、重量は1,000kgをもって1トンとする。

単位:千F/T

### 期待される道路の役割(効果)

＜広島港～東広島市役所間の所要時間の短縮＞

【整備前】 県道195号+国道2号+矢野海田線+海田大橋+広島南道路経由

約72分

【現況】 県道195号+国道2号+東広島バイパス(暫定供用L=2.7km)+矢野海田線+海田大橋+広島南道路経由

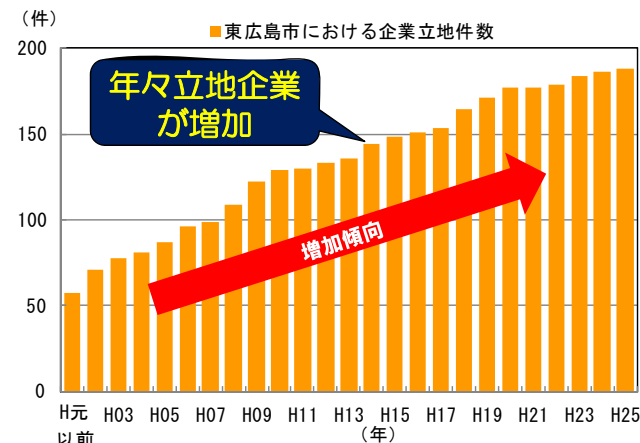
その他道路 約2分短縮  
約14分短縮 約56分

【将来】 県道195号+国道2号+安芸バイパス+東広島バイパス+矢野海田線+海田大橋+広島南道路経由

その他道路 約17分短縮  
約14分短縮 約41分 定時制の向上

整備前:H17センサス混雑時旅行速度  
現況:H22センサス混雑時旅行速度  
将来:H22センサス混雑時旅行速度、安芸バイパス・東広島バイパスはV=70km/h

### 東広島市の工業団地への立地企業数の推移



※右記の企業数は、地図に示している14団地に立地している立地企業数を示す

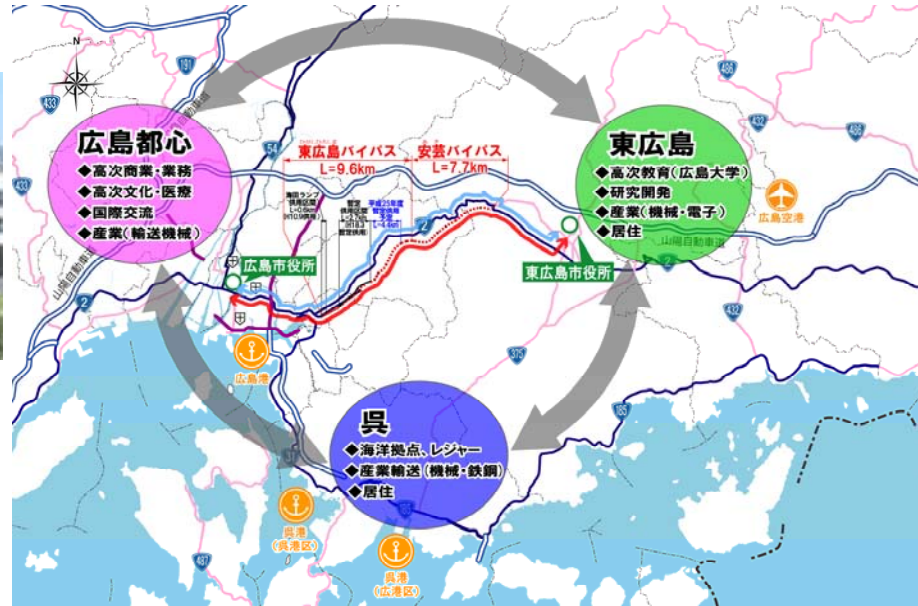
資料:東広島市提供資料

# 4. 地域から期待される道路の役割（効果）

## 課題⑥ 地域間ネットワークの構築

- 各市の長期計画等で定められた将来都市像の実現においてトライアングルネットワークの形成が掲げられている。
- バイパスの整備により、東広島市と広島市のアクセス性が向上し、各種地域開発計画の促進と地域経済、産業・文化等の発展、地域間交流が強化する。

【広島市：広島大学病院】



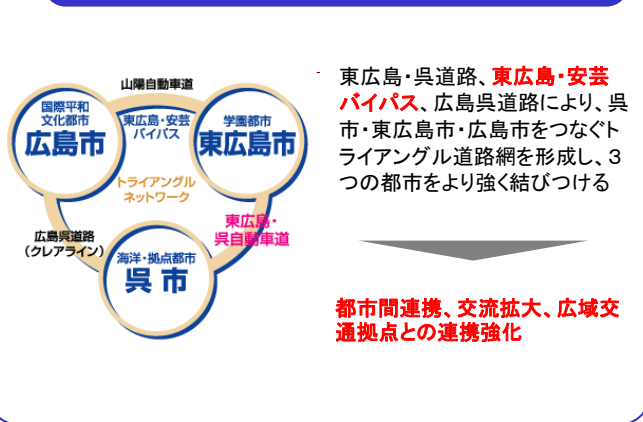
【東広島市：東広島中核工業団地】



【呉市：呉港】



### 都市間連携のためのトライアングルネットワーク



### 期待される道路の役割(効果)



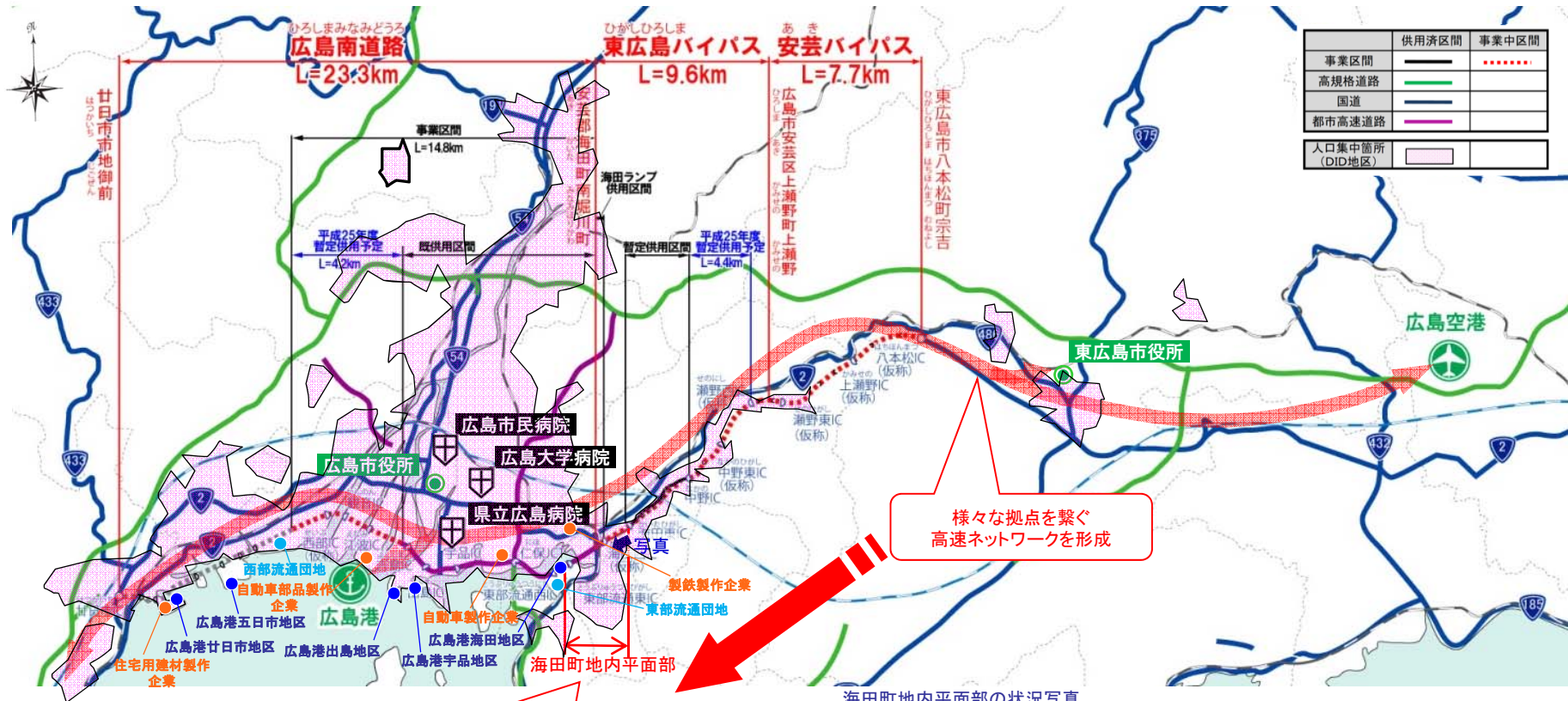




# 4. 地域から期待される道路の役割（効果）

## 課題(まとめ) 高速ネットワーク機能の充実

- ・ 広島南道路・東広島・安芸バイパス整備により、広島港、広島空港等との高速ネットワーク機能が充実しアクセス性が向上。
- ・ 広島市と東広島市の2都市間が高速ネットワークで繋がることで、日常生活の利便性や医療環境が向上し都市機能が充実。
- ・ 山陽自動車道と並行する高速ネットワークが新たに構築されることで、代替性の確保が可能。
- ・ 一方で、海田町地内の平面部への交通集中が懸念される。



様々な拠点を繋ぐ  
 高速ネットワークを形成

一方で、海田町地内の平面部への  
 交通集中が懸念される。



海田町地内平面部の状況写真

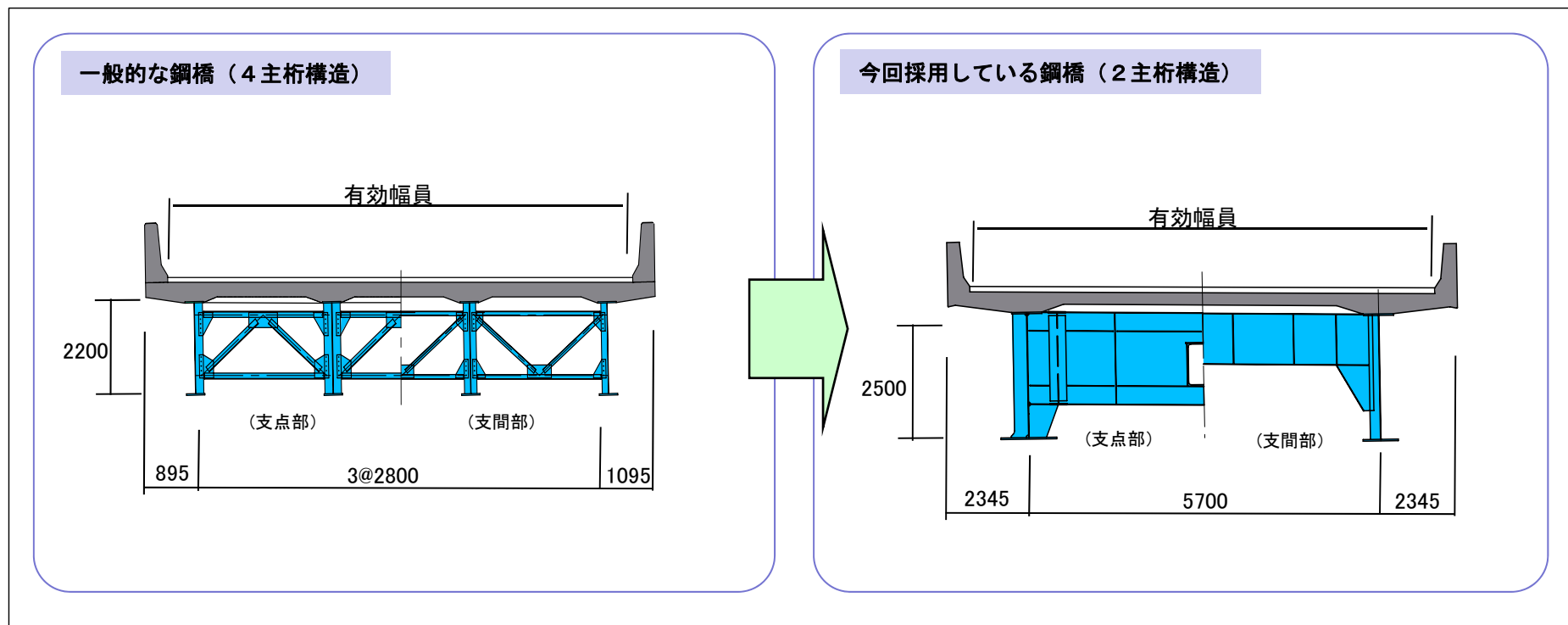
# 5. コスト削減に対する取り組み

一般国道2号 安芸バイパス  
一般国道2号 東広島バイパス

・鋼橋の少本数主桁構造の採用、新技術の採用等によりコスト削減。

## ◆ コスト削減例：鋼橋の2主桁構造の採用

主桁中心間隔を広げることで、**鋼重・製作工数が減るため、上部工費が削減。**



- 東広島バイパス（瀬野高架橋） 約0.2億円のコスト削減
- 安芸バイパス（清谷高架橋） 約0.4億円のコスト削減

# 6. 事業の効果

## (1) 安芸バイパス

一般国道2号 安芸バイパス  
一般国道2号 東広島バイパス

・地域からの要望等を踏まえ、道路の役割については、従来の3便益に加えて、「地域から期待される道路の役割」等を整理。

### ◆ 3便益による費用便益比

(億円)

項目	全体事業	残事業
<b>費用 (C)</b>	<b>529</b>	<b>285</b>
<b>事業費</b>	<b>500</b>	<b>257</b>
<b>維持管理費</b>	<b>29</b>	<b>29</b>
<b>便益額 (B)</b>	<b>2,502</b>	<b>2,502</b>
<b>走行時間短縮便益</b>	<b>2,002</b>	<b>2,002</b>
<b>走行経費減少便益</b>	<b>425</b>	<b>425</b>
<b>交通事故減少便益</b>	<b>75</b>	<b>75</b>
<b>費用便益比</b>	<b>4.7</b>	<b>8.8</b>

便益計測対象項目	内 容
走行時間短縮便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行時間が短縮される効果を貨幣価値として算出したもの。
走行経費減少便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行条件が改善されることによる走行に必要な経費（燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両整備費、車両償却費）の減少効果を対象として算出したもの。 なお、走行時間に含まれない経費を対象として算出している。
交通事故減少便益	周辺道路も含め、道路整備による交通量等の変化に伴う、交通事故による社会的損失（運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構築物に関する物的損害額等）が減少する効果を貨幣価値として算出したもの。

### ◆ 道路の役割

#### ■ 道路の役割(+α)

- ① 環境への影響を考慮した効果[約56.3千トンのCO2削減]【+21.1億円】※  
安芸バイパス・東広島バイパス整備に伴う速度向上による地球環境(CO2)の改善効果を算定
- ② 物流の効率化[例)広島港～東広島市役所までの所要時間短縮約17分][72分→55分]
- ③ 地域連携ネットワークの形成[例)広島市役所～東広島市役所までの所要時間短縮約16分][85分→69分]
- ④ 高次医療施設への救急搬送[県立広島病院～東広島市役所までの所要時間短縮約8分][42分→34分]

※【 】は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

### ◆ まとめ

計画交通量	総事業費	総費用(C)	3便益(B)	その他の便益	費用対効果(B/C) ( )内は残事業B/C
57,000台/日～61,800台/日	約550億円	529億円	2,502億円	+α	4.7 (8.8) +α

※基準年：H25年



# 6. 事業の効果

## (2)東広島バイパス

・地域からの要望等を踏まえ、道路の役割については、従来の3便益に加えて、「地域から期待される道路の役割」等を整理。

### ◆3便益による費用便益比

(億円)

項目	全体事業	残事業
<b>費用 (C)</b>	<b>1,455</b>	<b>273</b>
<b>事業費</b>	<b>1,406</b>	<b>242</b>
<b>維持管理費</b>	<b>39</b>	<b>31</b>
<b>便益額 (B)</b>	<b>3,327</b>	<b>2,361</b>
<b>走行時間短縮便益</b>	<b>2,751</b>	<b>2,100</b>
<b>走行経費減少便益</b>	<b>464</b>	<b>216</b>
<b>交通事故減少便益</b>	<b>112</b>	<b>45</b>
<b>費用便益比</b>	<b>2.3</b>	<b>8.6</b>

便益計測対象項目	内 容
走行時間短縮便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行時間が短縮される効果を貨幣価値として算出したもの。
走行経費減少便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行条件が改善されることによる走行に必要な経費（燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両整備費、車両償却費）の減少効果を対象として算出したもの。 なお、走行時間に含まれない経費を対象として算出している。
交通事故減少便益	周辺道路も含め、道路整備による交通量等の変化に伴う、交通事故による社会的損失（運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構築物に関する物的損害額等）が減少する効果を貨幣価値として算出したもの。

### ◆道路の役割

#### ■道路の役割(+α)

- ①環境への影響を考慮した効果[約56.6千トン/年のCO2削減]【+23.2億円】※  
安芸バイパス・東広島バイパス整備に伴う速度向上による地球環境(CO2)の改善効果を算定
- ②物流の効率化[例]広島港～東広島市役所までの所要時間短縮約17分][72分→55分]
- ③地域連携ネットワークの形成[例]広島市役所～東広島市役所までの所要時間短縮約16分][85分→69分]
- ④高次医療施設への救急搬送[県立広島病院～東広島市役所までの所要時間短縮約8分][42分→34分]

※【 】は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

### ◆まとめ

計画交通量	総事業費	総費用(C)	3便益(B)	その他の便益	費用対効果(B/C) ( )内は残事業B/C
49,300台/日～66,400台/日	約1,160億円	1,455億円	3,327億円	+α	2.3 (8.6) +α

※基準年：H25年

# 7. 今後の対応方針（原案）

## (1) 安芸バイパス

### 1. 再評価の視点

#### ① 事業の必要性の視点

##### 1) 事業を巡る社会情勢等の変化

- ◇国道2号は広島市街地と東広島市方面を結ぶ唯一の幹線道路であり、慢性的な交通渋滞の発生により、日常生活や経済活動の支障となっている。
- ◇広島空港への機能集約と広島西飛行場のヘリポート化により、広島市から広島空港へのアクセス向上が求められている。
- ◇道路線形不良箇所が存在により、交通事故が多く発生している。

##### 2) 事業の効果

- ◇費用便益比(B/C)=4.7(事業全体) 8.8(残事業)
- ◇道路の役割
  - ①環境への影響を考慮した効果[約56.3千トンの/年のCO2削減] 【+21.1億円】※  
安芸バイパス・東広島バイパス整備に伴う速度向上による地球環境(CO2)の改善効果を算定
  - ②物流の効率化[例)広島港～東広島市役所までの所要時間短縮約17分][72分→55分]
  - ③地域連携ネットワークの形成[例)広島市役所～東広島市役所までの所要時間短縮約16分][85分→69分]
  - ④高次医療施設への救急搬送[県立広島病院～東広島市役所までの所要時間短縮約8分][42分→34分]

##### 3) 事業の進捗状況

※【 】は、供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）

- ◇平成24年度末で用地買収は約85%完了している。また、工事の進捗は24%完了している。

#### ② 事業の進捗見込み

- ◇引き続き早期全線開通を目指し事業を推進する。

#### ③ コスト縮減や代替案立案の可能性

- ◇橋梁上部工への少本数主桁構造の採用により、総合的なコストの縮減を図っている。

### 2. 県・市への意見照会結果

広島県知事の意見： 対応方針(原案)については妥当

一般国道2号の慢性的渋滞の緩和、地域経済・産業の発展や空港アクセス向上のため、早期整備が必要であり、計画的に整備を進めていただきたい。

広島市長の意見： 対応方針(原案)については異存なし

一般国道2号の渋滞緩和、空港アクセス強化のためにも、海田高架橋を含め全線の早期供用に向け着実に整備を進めていただきたい。

### 【今後の対応方針（原案）】

- ◇以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、今後とも**事業継続が妥当**。
- ◇今後の事業の実施にあたっては、更なるコスト縮減に努力しつつ、効率的で効果的に事業を継続する。

# 7. 今後の対応方針（原案）

## (2)東広島バイパス

### 1. 再評価の視点

#### ①事業の必要性の視点

##### 1) 事業を巡る社会情勢等の変化

◇国道2号は広島市街地と東広島市方面を結ぶ唯一の幹線道路であり、慢性的な交通渋滞の発生により、日常生活や経済活動の支障となっている。  
◇広島空港への機能集約と広島西飛行場のヘリポート化により、広島市から広島空港へのアクセス向上が求められている。

##### 2) 事業の効果

◇費用便益比(B/C)=2.3(事業全体) 8.6(残事業)

◇道路の役割

- ①環境への影響を考慮した効果[約56.6千トンのCO2削減]【+23.2億円】※  
安芸バイパス・東広島バイパス整備に伴う速度向上による地球環境(CO2)の改善効果を算定
- ②物流の効率化[例)広島港～東広島市役所までの所要時間短縮約17分][72分→55分]
- ③地域連携ネットワークの形成[例)広島市役所～東広島市役所までの所要時間短縮約16分][85分→69分]
- ④高次医療施設への救急搬送[県立広島病院～東広島市役所までの所要時間短縮約8分][42分→34分]

##### 3) 事業の進捗状況

※【 】は、供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）

◇平成24年度末で用地買収は約99%完了している。また、工事の進捗は55%完了している。  
◇現在までに「中野IC～海田東IC(L=2.7km)」及び「ランプ部(L=0.6km)」が開通している。

#### ②事業の進捗見込み

◇投資効果の早期発現を図るため段階的な開通を実施しており、平成25年度に中野IC～瀬野西(仮称)までの暫定2車線供用を予定している。

#### ③コスト縮減や代替案立案の可能性

◇橋梁上部工への少本数主桁構造の採用により、総合的なコストの縮減を図っている。

### 2. 県・市への意見照会結果

広島県知事の意見： 対応方針(原案)については妥当

一般国道2号の慢性的渋滞の緩和、地域経済・産業の発展や空港アクセス向上のため、早期整備が必要であり、計画的に整備を進めていただきたい。

広島市長の意見： 対応方針(原案)については異存なし

一般国道2号の渋滞緩和、空港アクセス強化のためにも、海田高架橋を含め全線の早期供用に向け着実に整備を進めていただきたい。

### 【今後の対応方針（原案）】

◇以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、今後とも**事業継続が妥当**。  
◇今後の事業の実施にあたっては、更なるコスト縮減に努力しつつ、効率的で効果的に事業を継続する。

## ◆前回評価時との比較(安芸バイパス)

	前回評価 (H22再評価)	今回評価 (H25再評価)	備考 (前回評価時からの主な変更点)
事業諸元	L=7.7km	L=7.7km	—
計画交通量	54,200台/日 ~58,900台/日	57,000台/日 ~61,800台/日	・将来交通需要推計の改善について【中間とりまとめ】に示された第二段階の改善を反映
総事業費	約550億円	約550億円	—
総費用 (C)	505億円	529億円	・基準年の変更(H22基準からH25基準)
総便益 (B)	2,297億円	2,502億円	・将来交通需要推計の改善について【中間とりまとめ】に示された第二段階の改善を反映 ・基準年の変更(H22基準からH25基準)
費用対効果 (B/C)	4.5	4.7	・総費用及び総便益を見直したため

※費用/便益は基準年における現在価値の値

## ◆前回評価時との比較(東広島バイパス)

	前回評価 (H22再評価)	今回評価 (H25再評価)	備考 (前回評価時からの主な変更点)
事業諸元	L=9.6km	L=9.6km	-
計画交通量	47,100台/日 ~63,600台/日	49,300台/日 ~66,400台/日	・将来交通需要推計の改善について【中間とりまとめ】に示された第二段階の改善を反映
総事業費	約1,160億円	約1,160億円	-
総費用 (C)	1,353億円	1,445億円	・基準年の変更(H22基準からH25基準)
総便益 (B)	2,929億円	3,327億円	・将来交通需要推計の改善について【中間とりまとめ】に示された第二段階の改善を反映 ・基準年の変更(H22基準からH25基準)
費用対効果 (B/C)	2.2	2.3	・総費用及び総便益を見直したため

※費用/便益は基準年における現在価値の値

一般国道2号安芸バイパス

一般国道2号東広島バイパス

〔費用便益比（B／C）算定等資料〕



様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道2号 安芸バイパス
事業主体	中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比 (B/C) = 4.7 (経済的純現在価値 (B-C) = 1,973億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 10.3%) 残事業：費用便益比 (B/C) = 8.8 (経済的純現在価値 (B-C) = 2,217億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 24.0%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠	
1. 活力	円滑なモビリティの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現道等の年間損失時間及び削減率</li> <li>□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される</li> <li>□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される</li> <li>■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する</li> <li>■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる</li> <li>■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる</li> </ul>	区間a (費用便益分析対象区間) について 渋滞損失時間 (現況) : 約123,581千人・時間/年 渋滞損失削減時間 : 5,700千人・時間/年 (約123,581千人・時間/年⇒117,881千人・時間/年) 区間b (該当区間/平行区間) について : (該当区間) 一般国道2号安芸バイパス 並行区間等 (該当区間) の渋滞損失時間 (現況) : 約2,492千人・時間/年 並行区間等 (該当区間) の渋滞損失削減率 : 82.0%削減 (約2,492千人・時間/年⇒約449千人・時間)
	物流効率化の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	対象港湾 : 広島港、対象自治体 : 広島市安芸区、改善見込み : (広島市安芸区役所～広島空港、80分⇒64分)
		□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		□ 中心市街地内で行う事業である	
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	

政策目標	指 標 （対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠	
国土・地域ネットワークの構築	□ 高速自動車国道と並行する自専道（A路線）としての位置づけ有り		
	■ 地域高規格道路の位置づけあり	地域高規格道路「東広島廿日市道路」の一部として位置づけ（平成6年12月指定）	
	□ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する		
	□ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する		
	□ 現道等における交通不能区間を解消する		
	□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する		
	■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	対象自治体名：東広島市、日常活動圏中心都市：広島市、改善見込み：（東広島市役所～広島市役所、85分⇒69分）	
	個性ある地域の形成	□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
■ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	拠点開発プロジェクト「広島中央テクノポリス」の開発支援		
□ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される			
□ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である			
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	□ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		□ バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	□ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
□ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する			
安全で安心できるくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	対象となる三次医療施設名称：県立広島病院、アクセス向上が見込める自治体名：東広島市 改善見込み：（東広島市役所～県立広島病院、42分⇒34分）	
3. 安全	安全な生活環境の確保	□ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		□ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠	
災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する		
	<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	広島県緊急輸送道路ネットワーク計画（H19.3月策定）で第1次緊急輸送道路に指定（一般国道2号）	
	<input type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する		
	<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）		
	<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される		
	<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する		
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：56.3千t/年（整備なし4,357.9千t/年⇒整備あり4,301.5千t/年）
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	評価対象区間：便益算定対象範囲 NOx排出削減量：235.0t/年（整備なし11,768.5t/年⇒整備あり11,533.4t/年・・・約2.0%削減）
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	評価対象区間：便益算定対象範囲 SPM排出削減量：11.8t/年（整備なし613.4t/年⇒整備あり601.6t/年・・・約1.9%削減）
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	広島市安芸区上瀬野(昼間78dB、夜間79dB)
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	■ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	東広島バイパス、広島南道路と一体となって、地域高規格道路「東広島廿日市道路」を構成する
		■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	「広島県道路整備計画2011」に位置づけあり
		■ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	広島都市圏を構成する広島市、東広島市の一体的な発展のための機能強化が図れる

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道2号	安芸バイパス	L=7.7km	地域高規格	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
57,000~61,800	4	中国地方整備局

## ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成25年度		
単純合計	528億円	86億円	614億円
うち残事業分	337億円	86億円	423億円
基準年における 現在価値 (C)	500億円	29億円	529億円
うち残事業分	257億円	29億円	285億円

## ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成25年度			
供用年	平成40年度			
単年便益 (初年便益)	30億円	17億円	4.1億円	51億円
基準年における 現在価値 (B)	2,002億円	425億円	75億円	2,502億円
うち残事業分	2,002億円	425億円	75億円	2,502億円



### ③ 結果

費用便益比（事業全体）	4.7
経済的純現在価値（事業全体）	1,973億円
経済的内部収益率（事業全体）	10.3%
費用便益比（残事業）	8.8
経済的純現在価値（残事業）	2,217億円
経済的内部収益率（残事業）	24.0%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

### ④ 感度分析

#### 【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	57,000~61,800	±10%	4.3~5.3
事業費	528億円	±10%	4.6~4.7
事業期間	33年	±20%	4.3~5.4

#### 【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	57,000~61,800	±10%	7.8~9.7
事業費	337億円	±10%	8.1~9.6
事業期間	14年	±20%	8.8~10.7

交通状況の変化

様式-3①

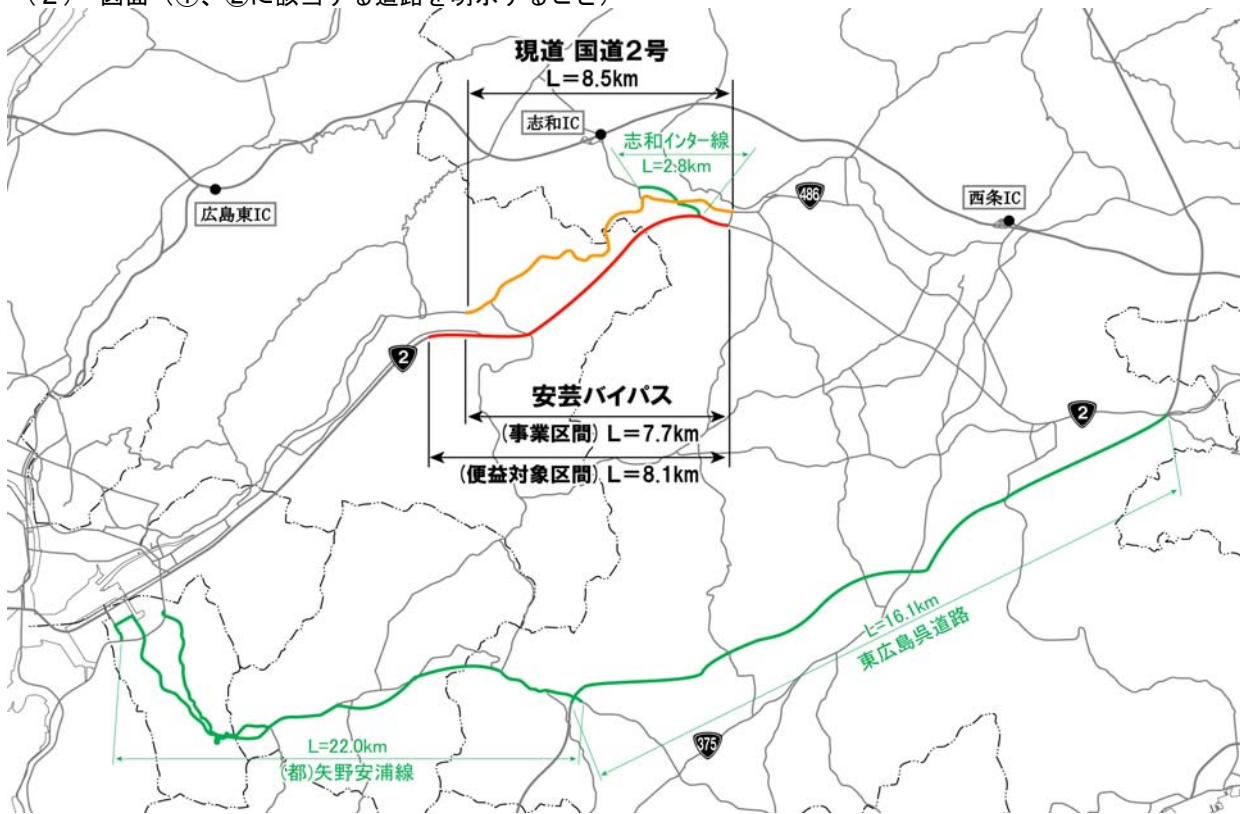
事業名：安芸バイパス（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 : 7.7km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	—	59,600	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	—	7	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	—	87.27	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	国道2号 : 8.5km	交通量	[台/日]	30,800	13,000
		走行時間	[分]	19	14
		走行時間費用	[億円/年]	120.52	35.08
	矢野安浦線 : 22.0km	交通量	[台/日]	27,100	17,600
		走行時間	[分]	49	40
		走行時間費用	[億円/年]	283.26	129.17
	志和インター線 : 2.8km	交通量	[台/日]	25,400	7,300
		走行時間	[分]	3	3
		走行時間費用	[億円/年]	13.99	3.83
	東呉道路 : 16.1km	交通量	[台/日]	47,900	25,600
		走行時間	[分]	12	12
		走行時間費用	[億円/年]	114.90	57.88
	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
③その他道路合計 : 2755.3km	走行時間費用	[億円/年]	10,540.05	10,595.43	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 2812.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	11,072.72	10,908.66	164.06

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



交通状況の変化

様式-3①

事業名：安芸バイパス（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 : 7.7km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	—	59,600	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	—	7	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	—	87.27	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	国道2号 : 8.5km	交通量	[台/日]	30,800	13,000
		走行時間	[分]	19	14
		走行時間費用	[億円/年]	120.52	35.08
	矢野安浦線 : 22.0km	交通量	[台/日]	27,100	17,600
		走行時間	[分]	49	40
		走行時間費用	[億円/年]	283.26	129.17
	志和インター線 : 2.8km	交通量	[台/日]	25,400	7,300
		走行時間	[分]	3	3
		走行時間費用	[億円/年]	13.99	3.83
	東呉道路 : 16.1km	交通量	[台/日]	47,900	25,600
		走行時間	[分]	12	12
		走行時間費用	[億円/年]	114.90	57.88
	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
③その他道路合計 : 2755.3km	走行時間費用	[億円/年]	10,540.05	10,595.43	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 2812.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	11,072.72	10,908.66	164.06



(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



## 費用便益分析の条件

事業名：安芸バイパス

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成25年度
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42年)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量 (トリップ数) ( ) 台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分 (リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である <input type="checkbox"/> 山間部海岸部で併行道路が少ない <input type="checkbox"/> その他 ( )
	簡易手法の考え方 (将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	その他 (最終配分交通量とQV式との関係から平均速度を設定)	<input checked="" type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数	( ) %
	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載			
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
		考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	(0.38) 日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
			山陽道(志和IC~広島東IC)の通行止め日数より算出	
	とり止め交通を考慮する	<input type="checkbox"/>		
	とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載			
	過去の実績が無いため			
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数	( ) 日	
		採用した冬期日数の考え方を記載		
		冬期の走行速度と交通容量の関係		
設定の考え方を記載				
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名：安芸バイパス

(4)

項目		チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他（概略事業計画による値を採用）	<input checked="" type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		実績値に基づき維持管理費を算出	
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	その他		
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			



## 費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:安芸バイパス(事業全体)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.25	7.7	1.91

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-24年目	H 7	2.0258	109.9	0.97	1.65		
-23年目	H 8	1.9479	109.5	1.46	2.39		
-22年目	H 9	1.8730	110.4	2.57	4.02		
-21年目	H 10	1.8009	109.9	27.67	41.76		
-20年目	H 11	1.7317	108.4	10.73	15.79		
-19年目	H 12	1.6651	107.2	9.12	13.05		
-18年目	H 13	1.6010	105.7	9.11	12.71		
-17年目	H 14	1.5395	103.8	14.79	20.20		
-16年目	H 15	1.4802	102.3	14.20	18.92		
-15年目	H 16	1.4233	101.0	21.96	28.50		
-14年目	H 17	1.3686	99.6	20.57	26.03		
-13年目	H 18	1.3159	98.7	10.16	12.48		
-12年目	H 19	1.2653	97.6	12.21	14.58		
-11年目	H 20	1.2167	96.8	5.28	6.11		
-10年目	H 21	1.1699	95.6	5.88	6.63		
-9年目	H 22	1.1249	93.7	0.80	0.88		
-8年目	H 23	1.0816	92.1	2.07	2.24		
-7年目	H 24	1.0400	92.1	9.80	10.19		
-6年目	H 25	1.0000	92.1	11.31	11.31		
-5年目	H 26	0.9615	92.1	10.02	9.63		
-4年目	H 27	0.9246	92.1	30.48	28.18		
-3年目	H 28	0.8890	92.1	43.84	38.97		
-2年目	H 29	0.8548	92.1	55.04	47.05		
-1年目	H 30	0.8219	92.1	25.14	20.66		
暫定供用年	H 31	0.7903	92.1	0.95	0.75	1.27	1.00
1年目	H 32	0.7599	92.1	4.76	3.62	1.27	0.96
2年目	H 33	0.7307	92.1	8.10	5.92	1.27	0.93
3年目	H 34	0.7026	92.1	14.29	10.04	1.27	0.89
4年目	H 35	0.6756	92.1	28.57	19.30	1.27	0.86
5年目	H 36	0.6496	92.1	42.86	27.84	1.27	0.82
6年目	H 37	0.6246	92.1	59.38	37.09	1.27	0.79
7年目	H 38	0.6006	92.1	9.52	5.72	1.27	0.76
8年目	H 39	0.5775	92.1	4.01	2.32	1.27	0.73
供用開始年次	H 40	0.5553	92.1			1.82	1.01
10年目	H 41	0.5339	92.1			1.82	0.97
11年目	H 42	0.5134	92.1			1.82	0.93
12年目	H 43	0.4936	92.1			1.82	0.90
13年目	H 44	0.4746	92.1			1.82	0.86
14年目	H 45	0.4564	92.1			1.82	0.83
15年目	H 46	0.4388	92.1			1.82	0.80
16年目	H 47	0.4220	92.1			1.82	0.77
17年目	H 48	0.4057	92.1			1.82	0.74
18年目	H 49	0.3901	92.1			1.82	0.71
19年目	H 50	0.3751	92.1			1.82	0.68
20年目	H 51	0.3607	92.1			1.82	0.66
21年目	H 52	0.3468	92.1			1.82	0.63
22年目	H 53	0.3335	92.1			1.82	0.61
23年目	H 54	0.3207	92.1			1.82	0.58
24年目	H 55	0.3083	92.1			1.82	0.56
25年目	H 56	0.2965	92.1			1.82	0.54
26年目	H 57	0.2851	92.1			1.82	0.52
27年目	H 58	0.2741	92.1			1.82	0.50
28年目	H 59	0.2636	92.1			1.82	0.48
29年目	H 60	0.2534	92.1			1.82	0.46
30年目	H 61	0.2437	92.1			1.82	0.44
31年目	H 62	0.2343	92.1			1.82	0.43
32年目	H 63	0.2253	92.1			1.82	0.41
33年目	H 64	0.2166	92.1			1.82	0.39
34年目	H 65	0.2083	92.1			1.82	0.38
35年目	H 66	0.2003	92.1			1.82	0.36
36年目	H 67	0.1926	92.1			1.82	0.35
37年目	H 68	0.1852	92.1			1.82	0.34
38年目	H 69	0.1780	92.1			1.82	0.32
39年目	H 70	0.1712	92.1			1.82	0.31
40年目	H 71	0.1646	92.1			1.82	0.30
41年目	H 72	0.1583	92.1			1.82	0.29
42年目	H 73	0.1522	92.1			1.82	0.28
43年目	H 74	0.1463	92.1			1.82	0.27
44年目	H 75	0.1407	92.1			1.82	0.26
45年目	H 76	0.1353	92.1			1.82	0.25
46年目	H 77	0.1301	92.1			1.82	0.24
47年目	H 78	0.1251	92.1			1.82	0.23
48年目	H 79	0.1203	92.1			1.82	0.22
49年目	H 80	0.1157	92.1	-55.20	-6.38	1.82	0.21
合計				472.42	500.14	85.98	28.74

単純事業費計	527.62	85.98
--------	--------	-------

注1)事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 費用の現在価値算定表

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名: 安芸バイパス(残事業)				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.25	7.7	1.91	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-5年目	H 26	0.9615	92.1	10.02	9.63		
-4年目	H 27	0.9246	92.1	30.48	28.18		
-3年目	H 28	0.8890	92.1	43.84	38.97		
-2年目	H 29	0.8548	92.1	55.04	47.05		
-1年目	H 30	0.8219	92.1	25.14	20.66		
暫定供用年	H 31	0.7903	92.1	0.95	0.75	1.27	1.00
1年目	H 32	0.7599	92.1	4.76	3.62	1.27	0.96
2年目	H 33	0.7307	92.1	8.10	5.92	1.27	0.93
3年目	H 34	0.7026	92.1	14.29	10.04	1.27	0.89
4年目	H 35	0.6756	92.1	28.57	19.30	1.27	0.86
5年目	H 36	0.6496	92.1	42.86	27.84	1.27	0.82
6年目	H 37	0.6246	92.1	59.38	37.09	1.27	0.79
7年目	H 38	0.6006	92.1	9.52	5.72	1.27	0.76
8年目	H 39	0.5775	92.1	4.01	2.32	1.27	0.73
供用開始年次	H 40	0.5553	92.1			1.82	1.01
10年目	H 41	0.5339	92.1			1.82	0.97
11年目	H 42	0.5134	92.1			1.82	0.93
12年目	H 43	0.4936	92.1			1.82	0.90
13年目	H 44	0.4746	92.1			1.82	0.86
14年目	H 45	0.4564	92.1			1.82	0.83
15年目	H 46	0.4388	92.1			1.82	0.80
16年目	H 47	0.4220	92.1			1.82	0.77
17年目	H 48	0.4057	92.1			1.82	0.74
18年目	H 49	0.3901	92.1			1.82	0.71
19年目	H 50	0.3751	92.1			1.82	0.68
20年目	H 51	0.3607	92.1			1.82	0.66
21年目	H 52	0.3468	92.1			1.82	0.63
22年目	H 53	0.3335	92.1			1.82	0.61
23年目	H 54	0.3207	92.1			1.82	0.58
24年目	H 55	0.3083	92.1			1.82	0.56
25年目	H 56	0.2965	92.1			1.82	0.54
26年目	H 57	0.2851	92.1			1.82	0.52
27年目	H 58	0.2741	92.1			1.82	0.50
28年目	H 59	0.2636	92.1			1.82	0.48
29年目	H 60	0.2534	92.1			1.82	0.46
30年目	H 61	0.2437	92.1			1.82	0.44
31年目	H 62	0.2343	92.1			1.82	0.43
32年目	H 63	0.2253	92.1			1.82	0.41
33年目	H 64	0.2166	92.1			1.82	0.39
34年目	H 65	0.2083	92.1			1.82	0.38
35年目	H 66	0.2003	92.1			1.82	0.36
36年目	H 67	0.1926	92.1			1.82	0.35
37年目	H 68	0.1852	92.1			1.82	0.34
38年目	H 69	0.1780	92.1			1.82	0.32
39年目	H 70	0.1712	92.1			1.82	0.31
40年目	H 71	0.1646	92.1			1.82	0.30
41年目	H 72	0.1583	92.1			1.82	0.29
42年目	H 73	0.1522	92.1			1.82	0.28
43年目	H 74	0.1463	92.1			1.82	0.27
44年目	H 75	0.1407	92.1			1.82	0.26
45年目	H 76	0.1353	92.1			1.82	0.25
46年目	H 77	0.1301	92.1			1.82	0.24
47年目	H 78	0.1251	92.1			1.82	0.23
48年目	H 79	0.1203	92.1			1.82	0.22
49年目	H 80	0.1157	92.1	-4.14	-0.48	1.82	0.21
合計				332.82	256.61	85.98	28.74
単純事業費計				336.96		85.98	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：安芸バイパス(事業全体)

年度 (基準年) H25	年次	総走行台キロの年次別伸び率 (山陽7ロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益(億円)				現在価値 ①×(A)	走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		合 計 (億円)			
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計		乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%	
	暫定供用年	31	0.99618	0.99469	1.01239	0.99868	0.7903	92.1	19.09	3.14	7.59	29.83	23.57	5.04	1.15	10.49	16.68	13.18	4.11	3.25	50.62	40.00
	1年目	H 32	0.99617	0.99466	1.01224	0.99867	0.7599	92.1	19.02	3.12	7.69	29.83	22.67	5.02	1.15	10.61	16.78	12.75	4.11	3.12	50.72	38.54
	2年目	H 33	0.99714	0.99416	1.01580	0.99988	0.7307	92.1	18.97	3.11	7.81	29.88	21.83	5.01	1.14	10.78	16.93	12.37	4.10	3.00	50.91	37.20
	3年目	H 34	0.99713	0.99413	1.01556	0.99988	0.7026	92.1	18.91	3.09	7.93	29.93	21.03	4.99	1.13	10.95	17.07	12.00	4.10	2.88	51.11	35.91
	4年目	H 35	0.99713	0.99409	1.01532	0.99988	0.6756	92.1	18.86	3.07	8.05	29.98	20.25	4.98	1.13	11.12	17.22	11.63	4.10	2.77	51.30	34.66
	5年目	H 36	0.99712	0.99406	1.01509	0.99988	0.6496	92.1	18.80	3.05	8.17	30.03	19.50	4.96	1.12	11.28	17.37	11.28	4.10	2.67	51.50	33.45
	6年目	H 37	0.99711	0.99402	1.01486	0.99988	0.6246	92.1	18.75	3.03	8.29	30.07	18.78	4.95	1.11	11.45	17.51	10.94	4.10	2.56	51.69	32.29
	7年目	H 38	0.99710	0.99398	1.01465	0.99988	0.6006	92.1	18.70	3.01	8.41	30.12	18.09	4.94	1.11	11.62	17.66	10.61	4.10	2.46	51.89	31.16
	8年目	H 39	0.99709	0.99395	1.01444	0.99988	0.5775	92.1	18.64	3.00	8.54	30.17	17.42	4.92	1.10	11.79	17.81	10.28	4.10	2.37	52.08	30.08
	供用開始年次	H 40	0.99708	0.99391	1.01423	0.99988	0.5553	92.1	18.64	3.00	8.67	30.22	16.32	6.92	1.50	11.99	17.81	15.44	4.66	2.59	194.78	108.16
	10年目	H 41	0.99708	0.99387	1.01403	0.99988	0.5339	92.1	18.70	3.01	8.41	30.12	18.09	4.94	1.11	11.62	17.66	10.61	4.10	2.46	195.90	104.59
	11年目	H 42	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	18.70	3.01	8.26	30.12	18.09	4.94	1.11	11.62	17.66	10.61	4.10	2.46	197.02	101.14
	12年目	H 43	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	63.91	14.88	84.77	163.56	80.74	6.83	1.47	19.96	28.26	13.95	4.63	2.29	196.45	96.97
	13年目	H 44	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	63.41	14.78	84.87	163.06	77.40	6.77	1.46	19.98	28.22	13.39	4.60	2.19	195.88	92.97
	14年目	H 45	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	62.92	14.68	84.97	162.56	74.19	6.72	1.45	20.00	28.18	12.86	4.58	2.09	195.32	89.14
	15年目	H 46	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	62.42	14.57	85.07	162.06	71.12	6.67	1.44	20.03	28.14	12.35	4.55	2.00	194.75	85.46
	16年目	H 47	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	61.93	14.47	85.17	161.56	68.17	6.61	1.43	20.05	28.10	11.86	4.52	1.91	194.18	81.94
	17年目	H 48	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	61.43	14.37	85.26	161.06	65.35	6.56	1.42	20.07	28.06	11.38	4.50	1.82	193.62	78.55
	18年目	H 49	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	60.94	14.26	85.36	160.56	62.64	6.51	1.41	20.10	28.02	10.93	4.47	1.74	193.05	75.31
	19年目	H 50	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	60.44	14.16	85.46	160.06	60.04	6.46	1.40	20.12	27.98	10.49	4.44	1.67	192.48	72.20
	20年目	H 51	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	59.95	14.05	85.56	159.56	57.55	6.40	1.39	20.14	27.94	10.08	4.42	1.59	191.92	69.22
	21年目	H 52	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	59.45	13.95	85.66	159.06	55.17	6.35	1.38	20.17	27.90	9.67	4.39	1.52	191.35	66.36
	22年目	H 53	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	58.96	13.85	85.76	158.56	52.88	6.30	1.37	20.19	27.86	9.29	4.36	1.45	190.78	63.62
	23年目	H 54	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	58.47	13.74	85.86	158.06	50.68	6.24	1.36	20.21	27.82	8.92	4.33	1.39	190.22	60.99
	24年目	H 55	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	57.97	13.64	85.96	157.56	48.58	6.19	1.35	20.24	27.78	8.56	4.31	1.33	189.65	58.47
	25年目	H 56	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	57.48	13.53	86.05	157.06	46.56	6.14	1.34	20.26	27.74	8.22	4.28	1.27	189.08	56.06
	26年目	H 57	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	56.98	13.43	86.15	156.56	44.63	6.09	1.33	20.28	27.70	7.90	4.25	1.21	188.52	53.74
	27年目	H 58	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	56.49	13.33	86.25	156.07	42.78	6.03	1.32	20.31	27.66	7.58	4.23	1.16	187.95	51.52
	28年目	H 59	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	55.99	13.22	86.35	155.57	41.00	5.98	1.31	20.33	27.62	7.28	4.20	1.11	187.38	49.39
	29年目	H 60	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	55.50	13.12	86.45	155.06	39.30	5.93	1.30	20.35	27.58	6.99	4.17	1.06	186.82	47.34
	30年目	H 61	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	55.00	13.02	86.55	154.56	37.66	5.87	1.29	20.37	27.54	6.71	4.15	1.01	186.25	45.38
	31年目	H 62	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	54.51	12.91	86.65	154.06	36.10	5.82	1.28	20.40	27.50	6.44	4.12	0.97	185.68	43.50
	32年目	H 63	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	54.01	12.81	86.74	153.56	34.60	5.77	1.27	20.42	27.46	6.19	4.09	0.92	185.11	41.70
	33年目	H 64	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	53.52	12.70	86.84	153.06	33.16	5.72	1.26	20.44	27.42	5.94	4.07	0.88	184.55	39.98
	34年目	H 65	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	53.02	12.60	86.94	152.56	31.78	5.66	1.25	20.47	27.38	5.70	4.04	0.84	183.98	38.32
	35年目	H 66	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	52.53	12.50	87.04	152.06	30.46	5.61	1.24	20.49	27.34	5.48	4.01	0.80	183.41	36.73
	36年目	H 67	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	52.03	12.39	87.14	151.56	29.19	5.56	1.23	20.51	27.30	5.26	3.99	0.77	182.85	35.21
	37年目	H 68	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	51.54	12.29	87.24	151.06	27.97	5.50	1.22	20.54	27.26	5.05	3.96	0.73	182.28	33.75
	38年目	H 69	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	51.04	12.19	87.34	150.56	26.81	5.45	1.21	20.56	27.22	4.85	3.93	0.70	181.71	32.35
	39年目	H 70	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	50.55	12.08	87.44	150.06	25.69	5.40	1.20	20.58	27.18	4.65	3.90	0.67	181.15	31.01
	40年目	H 71	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	50.05	11.98	87.53	149.56	24.62	5.35	1.19	20.61	27.14	4.47	3.88	0.64	180.58	29.73
	41年目	H 72	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	49.56	11.87	87.63	149.06	23.59	5.29	1.18	20.63	27.10	4.29	3.85	0.61	180.01	28.49
	42年目	H 73	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	49.06	11.77	87.73	148.56	22.61	5.24	1.17	20.65	27.06	4.12	3.82	0.58	179.45	27.31
	43年目	H 74	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	48.57	11.67	87.83	148.06	21.67	5.19	1.15	20.68	27.02	3.95	3.80	0.56	178.88	26.18
	44年目	H 75	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	48.07	11.56	87.93	147.56	20.76	5.13	1.14	20.70	26.98	3.80	3.77	0.53	178.31	25.09
	45年目	H 76	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	47.58	11.46	88.03	147.06	19.90	5.08	1.13	20.72	26.94	3.64	3.74	0.51	177.75	24.05
	46年目	H 77																				

### 便益の現在価値算定表

箇所名:安芸バイパス(残事業)

年度 (基準年)	H25	総走行台キロの年次別伸び率 (山陽700)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
暫定供用年	H 31	0.99618	0.99469	1.01239	0.99868	0.7903	92.1	19.09	3.14	7.59	29.83	23.57	5.04	1.15	10.49	16.68	13.18	4.11	3.25	50.62	40.00
1年目	H 32	0.99617	0.99466	1.01224	0.99867	0.7599	92.1	19.02	3.12	7.69	29.83	22.67	5.02	1.15	10.61	16.78	12.75	4.11	3.12	50.72	38.54
2年目	H 33	0.99714	0.99416	1.01580	0.99988	0.7307	92.1	18.97	3.11	7.81	29.88	21.83	5.01	1.14	10.78	16.93	12.37	4.10	3.00	50.91	37.20
3年目	H 34	0.99713	0.99413	1.01556	0.99988	0.7026	92.1	18.91	3.09	7.93	29.93	21.03	4.99	1.13	10.95	17.07	12.00	4.10	2.88	51.11	35.91
4年目	H 35	0.99713	0.99409	1.01532	0.99988	0.6756	92.1	18.86	3.07	8.05	29.98	20.25	4.98	1.13	11.12	17.22	11.63	4.10	2.77	51.30	34.66
5年目	H 36	0.99712	0.99406	1.01509	0.99988	0.6496	92.1	18.80	3.05	8.17	30.03	19.50	4.96	1.12	11.28	17.37	11.28	4.10	2.67	51.50	33.45
6年目	H 37	0.99711	0.99402	1.01486	0.99988	0.6246	92.1	18.75	3.03	8.29	30.07	18.78	4.95	1.11	11.45	17.51	10.94	4.10	2.56	51.69	32.29
7年目	H 38	0.99710	0.99398	1.01465	0.99988	0.6006	92.1	18.70	3.01	8.41	30.12	18.09	4.94	1.11	11.62	17.66	10.61	4.10	2.46	51.89	31.16
8年目	H 39	0.99709	0.99395	1.01444	0.99988	0.5775	92.1	18.64	3.00	8.54	30.17	17.42	4.92	1.10	11.79	17.81	10.28	4.10	2.37	52.08	30.08
供用開始年次	H 40	0.99708	0.99391	1.01423	0.99988	0.5553	92.1	64.78	15.17	82.36	162.32	90.13	6.92	1.50	19.39	27.81	15.44	4.66	2.59	194.78	108.16
10年目	H 41	0.99708	0.99387	1.01403	0.99988	0.5339	92.1	64.59	15.08	83.52	163.19	87.13	6.90	1.49	19.66	28.05	14.98	4.66	2.49	195.90	104.59
11年目	H 42	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	64.40	14.99	84.67	164.06	84.23	6.88	1.48	19.93	28.30	14.53	4.66	2.39	197.02	101.14
12年目	H 43	0.99707	0.99380	1.01364	0.99988	0.4936	92.1	63.91	14.88	84.77	163.56	80.74	6.83	1.47	19.96	28.26	13.95	4.63	2.29	196.45	96.97
13年目	H 44	0.99707	0.99376	1.01344	0.99988	0.4746	92.1	63.41	14.78	84.87	163.06	77.40	6.77	1.46	19.98	28.22	13.39	4.60	2.19	195.88	92.97
14年目	H 45	0.99707	0.99372	1.01324	0.99988	0.4564	92.1	62.92	14.68	84.97	162.56	74.19	6.72	1.45	20.00	28.18	12.86	4.58	2.09	195.32	89.14
15年目	H 46	0.99707	0.99368	1.01304	0.99988	0.4388	92.1	62.42	14.57	85.07	162.06	71.12	6.67	1.44	20.03	28.14	12.35	4.55	2.00	194.75	85.46
16年目	H 47	0.99707	0.99364	1.01284	0.99988	0.4220	92.1	61.93	14.47	85.17	161.56	68.17	6.61	1.43	20.05	28.10	11.86	4.52	1.91	194.18	81.94
17年目	H 48	0.99707	0.99360	1.01264	0.99988	0.4057	92.1	61.43	14.37	85.26	161.06	65.35	6.56	1.42	20.07	28.06	11.38	4.50	1.82	193.62	78.55
18年目	H 49	0.99707	0.99356	1.01244	0.99988	0.3901	92.1	60.94	14.26	85.36	160.56	62.64	6.51	1.41	20.10	28.02	10.93	4.47	1.74	193.05	75.31
19年目	H 50	0.99707	0.99352	1.01224	0.99988	0.3751	92.1	60.44	14.16	85.46	160.06	60.04	6.46	1.40	20.12	27.98	10.49	4.44	1.67	192.48	72.20
20年目	H 51	0.99707	0.99348	1.01204	0.99988	0.3607	92.1	59.95	14.05	85.56	159.56	57.55	6.40	1.39	20.14	27.94	10.08	4.42	1.59	191.92	69.22
21年目	H 52	0.99707	0.99344	1.01184	0.99988	0.3468	92.1	59.45	13.95	85.66	159.06	55.17	6.35	1.38	20.17	27.90	9.67	4.39	1.52	191.35	66.36
22年目	H 53	0.99707	0.99340	1.01164	0.99988	0.3335	92.1	58.96	13.85	85.76	158.56	52.88	6.30	1.37	20.19	27.86	9.29	4.36	1.45	190.78	63.62
23年目	H 54	0.99707	0.99336	1.01144	0.99988	0.3207	92.1	58.47	13.74	85.86	158.06	50.68	6.24	1.36	20.21	27.82	8.92	4.33	1.39	190.22	60.99
24年目	H 55	0.99707	0.99332	1.01124	0.99988	0.3083	92.1	57.97	13.64	85.96	157.56	48.58	6.19	1.35	20.24	27.78	8.56	4.31	1.33	189.65	58.47
25年目	H 56	0.99707	0.99328	1.01104	0.99988	0.2965	92.1	57.48	13.53	86.05	157.06	46.56	6.14	1.34	20.26	27.74	8.22	4.28	1.27	189.08	56.06
26年目	H 57	0.99707	0.99324	1.01084	0.99988	0.2851	92.1	56.98	13.43	86.15	156.56	44.63	6.09	1.33	20.28	27.70	7.90	4.25	1.21	188.52	53.74
27年目	H 58	0.99707	0.99320	1.01064	0.99988	0.2741	92.1	56.49	13.33	86.25	156.07	42.78	6.03	1.32	20.31	27.66	7.58	4.23	1.16	187.95	51.52
28年目	H 59	0.99707	0.99316	1.01044	0.99988	0.2636	92.1	55.99	13.22	86.35	155.57	41.00	5.98	1.31	20.33	27.62	7.28	4.20	1.11	187.38	49.39
29年目	H 60	0.99707	0.99312	1.01024	0.99988	0.2534	92.1	55.50	13.12	86.45	155.06	39.30	5.93	1.30	20.35	27.58	6.99	4.17	1.06	186.82	47.34
30年目	H 61	0.99707	0.99308	1.01004	0.99988	0.2437	92.1	55.00	13.02	86.55	154.56	37.66	5.87	1.29	20.37	27.54	6.71	4.15	1.01	186.25	45.38
31年目	H 62	0.99707	0.99304	1.00984	0.99988	0.2343	92.1	54.51	12.91	86.65	154.06	36.10	5.82	1.28	20.40	27.50	6.44	4.12	0.97	185.68	43.50
32年目	H 63	0.99707	0.99300	1.00964	0.99988	0.2253	92.1	54.01	12.81	86.74	153.56	34.60	5.77	1.27	20.42	27.46	6.19	4.09	0.92	185.11	41.70
33年目	H 64	0.99707	0.99296	1.00944	0.99988	0.2166	92.1	53.52	12.70	86.84	153.06	33.16	5.72	1.26	20.44	27.42	5.94	4.07	0.88	184.55	39.98
34年目	H 65	0.99707	0.99292	1.00924	0.99988	0.2083	92.1	53.02	12.60	86.94	152.56	31.78	5.66	1.25	20.47	27.38	5.70	4.04	0.84	183.98	38.32
35年目	H 66	0.99707	0.99288	1.00904	0.99988	0.2003	92.1	52.53	12.50	87.04	152.06	30.46	5.61	1.24	20.49	27.34	5.48	4.01	0.80	183.41	36.73
36年目	H 67	0.99707	0.99284	1.00884	0.99988	0.1926	92.1	52.03	12.39	87.14	151.56	29.19	5.56	1.23	20.51	27.30	5.26	3.99	0.77	182.85	35.21
37年目	H 68	0.99707	0.99280	1.00864	0.99988	0.1852	92.1	51.54	12.29	87.24	151.06	27.97	5.50	1.22	20.54	27.26	5.05	3.96	0.73	182.28	33.75
38年目	H 69	0.99707	0.99276	1.00844	0.99988	0.1780	92.1	51.04	12.19	87.34	150.56	26.81	5.45	1.21	20.56	27.22	4.85	3.93	0.70	181.71	32.35
39年目	H 70	0.99707	0.99272	1.00824	0.99988	0.1712	92.1	50.55	12.08	87.44	150.06	25.69	5.40	1.20	20.58	27.18	4.65	3.90	0.67	181.15	31.01
40年目	H 71	0.99707	0.99268	1.00804	0.99988	0.1646	92.1	50.05	11.98	87.53	149.56	24.62	5.35	1.19	20.61	27.14	4.47	3.88	0.64	180.58	29.73
41年目	H 72	0.99707	0.99264	1.00784	0.99988	0.1583	92.1	49.56	11.87	87.63	149.06	23.59	5.29	1.18	20.63	27.10	4.29	3.85	0.61	180.01	28.49
42年目	H 73	0.99707	0.99260	1.00764	0.99988	0.1522	92.1	49.06	11.77	87.73	148.56	22.61	5.24	1.17	20.65	27.06	4.12	3.82	0.58	179.45	27.31
43年目	H 74	0.99707	0.99256	1.00744	0.99988	0.1463	92.1	48.57	11.67	87.83	148.06	21.67	5.19	1.15	20.68	27.02	3.95	3.80	0.56	178.88	26.18
44年目	H 75	0.99707	0.99252	1.00724	0.99988	0.1407	92.1	48.07	11.56	87.93	147.56	20.76	5.13	1.14	20.70	26.98	3.80	3.77	0.53	178.31	25.09
45年目	H 76	0.99707	0.99248	1.00704	0.99988	0.1353	92.1	47.58	11.46	88.03	147.06	19.90	5.08	1.13	20.72	26.94	3.64	3.74	0.51	177.75	24.05
46年目	H 77	0.99707	0.99244	1.00684	0.99988	0.1301	92.1	47.08	11.35	88.13	146.56	19.07	5.03	1.12	20.75	26.90	3.50	3.72	0.48	177.18	23.05
47年目	H 78	0.99707	0.99240	1.00664	0.99988	0.1251	92.1	46.59	11.25	88.22	146.06	18.27	4.98	1.11	20.77	26.86	3.36	3.69	0.46	176.61	22.09
48年目	H 79	0.99707	0.99236	1.00644	0.99988	0.1203	92.1	46.09	11.15												

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	安芸バイパス	4/4	7.7km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	36,993	
	改良費		式	1	5,180	
		土工	m <sup>3</sup>	1,370,800	1,223	切土、盛土
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>	0	0	
		法面工	m <sup>2</sup>	150,782	361	切土法面、盛土法面、法枠工
		擁壁工	式	1	1,120	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁、逆T式擁壁、扶壁式擁壁
		函渠工	式	1	2,476	管渠工、函渠工、水路工、等
	橋梁費		式	1	10,548	
		100m以上	m	2,499	9,559	PC橋(6橋)、ME橋(3橋)
		100m未満	m	249	989	PC橋(3橋)、ME橋(2橋)
	トンネル費		式	1	14,790	
		NATM	m	5,158	14,790	6本(上下線)
		シールド	m	0	0	
	IC・JCT費		式	1	2,614	
		IC	箇所	4	2,614	平面Y型(4箇所)
		JCT	箇所	0	0	
	舗装費		式	1	2,170	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	165,200	2,170	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	0	0	
	附帯施設費		式	1	1,691	
		交通管理施設工	式	1	1,691	標識工、防護柵工、道路照明工、中央分離帯工、等
遮音壁		m	0	0		
②用地及び補償費		式	1	8,076		
	用地費		式	1	5,823	
		宅地	m <sup>2</sup>	257,478	4,798	
		田畑	m <sup>2</sup>	29,658	425	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	122,600	600	
補償費	式	1	2,253			
③間接経費		式	1	9,931	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	
全体事業費				55,000		



路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	安芸バイパス	4/4	7.7km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	30,602	
	改良費		式	1	3,722	
		土工	m <sup>3</sup>	1,370,800	1,223	切土、盛土
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>	0	0	
		法面工	m <sup>2</sup>	150,782	361	切土法面、盛土法面、法枠工
		擁壁工	式	1	1,120	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁、逆T式擁壁、扶壁式擁壁
		函渠工	式	1	1,018	管渠工、函渠工、水路工、等
	橋梁費		式	1	9,577	
		100m以上	m	2,499	8,588	PC橋(6橋)、ME橋(3橋)
		100m未満	m	249	989	PC橋(3橋)、ME橋(2橋)
	トンネル費		式	1	11,420	
		NATM	m	3,778	11,420	5本(上下線)
		シールド	m	0	0	
	IC・JCT費		式	1	2,022	
		IC	箇所	0	2,022	平面Y型(4箇所)
		JCT	箇所	0	0	
	舗装費		式	1	2,170	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	165,200	2,170	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	0	0	
	附帯施設費		式	1	1,691	
		交通管理施設工	式	1	1,691	標識工、防護柵工、道路照明工、中央分離帯工、等
遮音壁		m	0	0		
②用地及び補償費			式	1	1,544	
	用地費		式	1	1,413	
		宅地	m <sup>2</sup>	43,000	388	
		田畑	m <sup>2</sup>	29,658	425	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	122,600	600	
補償費		式	1	131		
③間接経費			式	1	5,535	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					37,681	

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	安芸バイパス	4	7.7km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	7.7	1,700	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	7,328	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			9,028	

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	安芸バイパス	4	7.7km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	7.7	1,700	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	7,328	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			9,028	

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道2号 東広島バイパス
事業主体	中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比 (B/C) = 2.3 (経済的純現在価値 (B-C) = 1,883億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 6.4%) 残事業：費用便益比 (B/C) = 8.6 (経済的純現在価値 (B-C) = 2,088億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 22.8%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間損失時間及び削減率	区間a (費用便益分析対象区間) について 渋滞損失時間 (現況) : 約124,120千人・時間/年 渋滞損失削減時間 : 6,239千人・時間/年 (約124,120千人・時間/年⇒117,881千人・時間/年) 区間b (該当区間/平行区間) について : (該当区間) 一般国道2号東広島バイパス 並行区間等 (該当区間) の渋滞損失時間 (現況) : 約4,371千人・時間/年 並行区間等 (該当区間) の渋滞損失削減率 : 約80.8%削減 (約4,371千人・時間/年⇒約839千人・時間/年)
		□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上かつ踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	利便性向上が見込まれるバス路線 : 広島～瀬野～西条線 (77便/日)、阿戸線 (17便/日)、東雲線 (10便/日) のバス路線
		■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	対象駅 : 東広島駅、対象自治体 : 広島市安芸区、改善見込み : (広島市安芸区役所～東広島駅、61分⇒44分)
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	対象空港 : 広島空港、対象自治体 : 広島市安芸区、改善見込み : (広島市安芸区役所～広島空港、80分⇒64分)
	物流効率化の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	対象港湾 : 広島港、対象自治体 : 広島市、改善見込み : (広島市役所～広島港、72分⇒55分)
		□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		■ 中心市街地内で行う事業である	当該区間は中心市街地 (DID区間) 内の事業ため、該当する。
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
■ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する		DID内の道路が延長され、都市計画道路網密度が1.0km/km2→1.7km/km2に向上する。	
□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発 (300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上) への連絡道路となる			

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠	
国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道（A路線）としての位置づけ有り		
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	地域高規格道路「東広島廿日市道路」の一部として位置づけ（平成6年12月指定）	
	<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する		
	<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する		
	<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する		
	<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する		
	<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	対象自治体名：東広島市、日常活動圏中心都市：広島市、改善見込み：（東広島市役所～広島市役所、85分⇒69分）	
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	拠点開発プロジェクト「広島中央テクノポリス」の開発支援
		<input type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	
<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である			
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する			
安全で安心できるくらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	対象となる三次医療施設名称：県立広島病院、アクセス向上が見込める自治体名：東広島市 改善見込み：（東広島市役所～県立広島病院、42分⇒34分）	
3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	



政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠	
災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する		
	<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	広島県緊急輸送道路ネットワーク計画（H19.3月策定）で第1次緊急輸送道路に指定（一般国道2号）	
	<input type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する		
	<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）		
	<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される		
	<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する		
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：56.6千t/年（整備なし 4,358.1千t/年⇒整備あり4,301.5千t/年）
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	評価対象区間：便益算定対象範囲 NOx排出削減量：242.8t/年（整備なし11,776.3t/年⇒整備あり11,533.4t/年・・・約2.1%削減）
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	評価対象区間：便益算定対象範囲 SPM排出削減量：11.9t/年（整備なし613.5t/年⇒整備あり601.6t/年・・・約1.9%削減）
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	広島市安芸区中野東（昼間77dB、夜間78dB）
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input checked="" type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	安芸バイパス、広島南道路と一体となって、地域高規格道路「東広島廿日市道路」を構成する
	<input checked="" type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている		「広島県道路整備計画2011」に位置づけあり
	<input checked="" type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる		広島都市圏を構成する広島市、東広島市の一体的な発展のための機能強化が図れる

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道2号	東広島バイパス	L=9.6km	地域高規格	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
49,300~66,400	4	中国地方整備局

## ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成25年度		
単純合計	1,125億円	124億円	1,248億円
うち残事業分	323億円	101億円	424億円
基準年における 現在価値 (C)	1,406億円	39億円	1,445億円
うち残事業分	242億円	31億円	273億円

## ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成25年度			
供用年	平成39年度			
単年便益 (初年便益)	93億円	17億円	4.5億円	115億円
基準年における 現在価値 (B)	2,751億円	464億円	112億円	3,327億円
うち残事業分	2,100億円	216億円	45億円	2,361億円

### ③ 結果

費用便益比（事業全体）	2.3
経済的純現在価値（事業全体）	1,883億円
経済的内部収益率（事業全体）	6.4%
費用便益比（残事業）	8.6
経済的純現在価値（残事業）	2,088億円
経済的内部収益率（残事業）	22.8%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

### ④ 感度分析

#### 【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	49,300~66,400	±10%	1.8~2.8
事業費	1,125億円	±10%	2.3~2.3
事業期間	52年	±20%	2.1~2.5

#### 【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	49,300~66,400	±10%	7.6~10.0
事業費	323億円	±10%	7.9~9.5
事業期間	13年	±20%	7.9~9.5

交通状況の変化

様式-3①

事業名：東広島バイパス（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 : 9.6km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	—	61,000	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	—	9	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	—	113.45	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	国道2号 : 10.8km	交通量	[台/日]	38,900	19,300
		走行時間	[分]	32	24
		走行時間費用	[億円/年]	237.20	82.71
	矢野安浦線 : 22.0km	交通量	[台/日]	28,000	17,600
		走行時間	[分]	50	40
		走行時間費用	[億円/年]	298.34	129.17
	中野瀬野線 : 4.0km	交通量	[台/日]	2,900	4,600
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	6.65	6.20
	東広島呉道路 : 16.1km	交通量	[台/日]	48,700	25,600
		走行時間	[分]	12	12
		走行時間費用	[億円/年]	117.09	57.88
瀬野呉線 : 14.2km	交通量	[台/日]	7,200	6,200	
	走行時間	[分]	22	22	
	走行時間費用	[億円/年]	30.70	25.14	
③その他道路合計 : 2735.7km	走行時間費用	[億円/年]	10,419.68	10,494.11	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 2812.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	11,109.66	10,908.66	201.00

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)





交通状況の変化

様式-3①

事業名：東広島バイパス（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 : 9.6km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	45,600	61,000	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	17	9	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	158.03	113.45	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	国道2号 : 10.8km	交通量	[台/日]	25,500	19,300
		走行時間	[分]	25	24
		走行時間費用	[億円/年]	115.69	82.71
	矢野安浦線 : 22.0km	交通量	[台/日]	20,200	17,600
		走行時間	[分]	43	40
		走行時間費用	[億円/年]	165.50	129.17
	中野瀬野線 : 4.0km	交通量	[台/日]	13,700	4,600
		走行時間	[分]	10	8
		走行時間費用	[億円/年]	42.77	6.20
	東広島呉道路 : 16.1km	交通量	[台/日]	30,700	25,600
		走行時間	[分]	12	12
		走行時間費用	[億円/年]	71.08	57.88
瀬野呉線 : 14.2km	交通量	[台/日]	6,700	6,200	
	走行時間	[分]	22	22	
	走行時間費用	[億円/年]	27.59	25.14	
③その他道路合計 : 2735.7km	走行時間費用	[億円/年]	10,487.11	10,494.11	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 2812.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	11,067.77	10,908.66	159.11

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



# 費用便益分析の条件

事業名：東広島バイパス

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成25年度
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42年)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量 (トリップ数) ( ) 台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分 (リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である <input type="checkbox"/> 山間部海岸部で併行道路が少ない <input type="checkbox"/> その他 ( )
	簡易手法の考え方 (将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	その他 (最終配分交通量とQV式との関係から平均速度を設定)	<input checked="" type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数		( ) %	
	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載			
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
		考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	(0.38) 日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
	山陽道(志和IC~広島東IC)の通行止め日数より算出			
	とり止め交通を考慮する		<input type="checkbox"/>	
とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載				
過去の実績が無いため				
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数	( ) 日	
		採用した冬期日数の考え方を記載		
冬期の走行速度と交通容量の関係				
設定の考え方を記載				
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名：東広島バイパス

(4)

項目		チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他（概略計画による値を採用）	<input checked="" type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		実績値に基づき維持管理費を算出	
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
その他			
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

費用の現在価値算定表

			維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)				
			単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)		
			0.28	9.6	2.70		
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-46年目	S 50	4.4388	70.7	0.20	1.16		
-45年目	S 51	4.2681	76.7	0.20	1.03		
-44年目	S 52	4.1039	81.3	0.21	0.98		
-43年目	S 53	3.9461	84.7	0.10	0.43		
-42年目	S 54	3.7943	86.9	0.10	0.40		
-41年目	S 55	3.6484	92.4	0.05	0.18		
-40年目	S 56	3.5081	94.8	0.05	0.17		
-39年目	S 57	3.3731	95.8	0.45	1.46		
-38年目	S 58	3.2434	96.8	0.60	1.85		
-37年目	S 59	3.1187	98.7	0.55	1.60		
-36年目	S 60	2.9987	99.5	2.30	6.38		
-35年目	S 61	2.8834	101.2	0.50	1.31		
-34年目	S 62	2.7725	101.0	4.80	12.14		
-33年目	S 63	2.6658	101.5	7.20	17.42		
-32年目	H 1	2.5633	104.2	4.18	9.47		
-31年目	H 2	2.4647	106.5	5.46	11.64		
-30年目	H 3	2.3699	109.1	1.56	3.12		
-29年目	H 4	2.2788	110.6	12.06	22.89		
-28年目	H 5	2.1911	110.9	14.18	25.80		
-27年目	H 6	2.1068	110.8	58.52	102.48		
-26年目	H 7	2.0258	109.9	53.85	91.42		
-25年目	H 8	1.9479	109.5	70.69	115.82		
-24年目	H 9	1.8730	110.4	48.04	75.06		
-23年目	H 10	1.8009	109.9	87.25	131.68		
-22年目	H 11	1.7317	108.4	71.38	105.02		
-21年目	H 12	1.6651	107.2	52.62	75.27		
-20年目	H 13	1.6010	105.7	43.41	60.56		
-19年目	H 14	1.5395	103.8	48.65	66.45		
-18年目	H 15	1.4802	102.3	32.21	42.92		
-17年目	H 16	1.4233	101.0	26.86	34.86		
-16年目	H 17	1.3686	99.6	32.95	41.70		
-15年目	H 18	1.3159	98.7	12.65	15.53		
-14年目	H 19	1.2653	97.6	20.43	24.39		
-13年目	H 20	1.2167	96.8	23.89	27.65		
-12年目	H 21	1.1699	95.6	18.29	20.61		
-11年目	H 22	1.1249	93.7	10.31	11.40		
-10年目	H 23	1.0816	92.1	2.86	3.09		
-9年目	H 24	1.0400	92.1	21.83	22.70		
-8年目	H 25	1.0000	92.1	10.57	10.57		
-7年目	H 26	0.9615	92.1	16.94	16.29		
-6年目	H 27	0.9246	92.1	19.44	17.97		
-5年目	H 28	0.8890	92.1	21.66	19.26		
-4年目	H 29	0.8548	92.1	30.74	26.28		
-3年目	H 30	0.8219	92.1	34.96	28.73		
-2年目	H 31	0.7903	92.1	26.27	20.76		
-1年目	H 32	0.7599	92.1	22.21	16.88		
暫定供用年	H 33	0.7307	92.1	0.95	0.69	1.76	1.29
1年目	H 34	0.7026	92.1	4.76	3.34	1.76	1.24
2年目	H 35	0.6756	92.1	28.57	19.30	1.76	1.19
3年目	H 36	0.6496	92.1	42.86	27.84	1.76	1.14
4年目	H 37	0.6246	92.1	47.62	29.74	1.76	1.10
5年目	H 38	0.6006	92.1	25.57	15.36	1.76	1.06
供用開始年次	H 39	0.5775	92.1			2.57	1.48
7年目	H 40	0.5553	92.1			2.57	1.43
8年目	H 41	0.5339	92.1			2.57	1.37
9年目	H 42	0.5134	92.1			2.57	1.32
10年目	H 43	0.4936	92.1			2.57	1.27
11年目	H 44	0.4746	92.1			2.57	1.22
12年目	H 45	0.4564	92.1			2.57	1.17
13年目	H 46	0.4388	92.1			2.57	1.13
14年目	H 47	0.4220	92.1			2.57	1.09
15年目	H 48	0.4057	92.1			2.57	1.04
16年目	H 49	0.3901	92.1			2.57	1.00
17年目	H 50	0.3751	92.1			2.57	0.96
18年目	H 51	0.3607	92.1			2.57	0.93
19年目	H 52	0.3468	92.1			2.57	0.89
20年目	H 53	0.3335	92.1			2.57	0.86
21年目	H 54	0.3207	92.1			2.57	0.82
22年目	H 55	0.3083	92.1			2.57	0.79
23年目	H 56	0.2965	92.1			2.57	0.76
24年目	H 57	0.2851	92.1			2.57	0.73
25年目	H 58	0.2741	92.1			2.57	0.70
26年目	H 59	0.2636	92.1			2.57	0.68
27年目	H 60	0.2534	92.1			2.57	0.65
28年目	H 61	0.2437	92.1			2.57	0.63
29年目	H 62	0.2343	92.1			2.57	0.60
30年目	H 63	0.2253	92.1			2.57	0.58
31年目	H 64	0.2166	92.1			2.57	0.56
32年目	H 65	0.2083	92.1			2.57	0.54
33年目	H 66	0.2003	92.1			2.57	0.52
34年目	H 67	0.1926	92.1			2.57	0.50
35年目	H 68	0.1852	92.1			2.57	0.48
36年目	H 69	0.1780	92.1			2.57	0.46
37年目	H 70	0.1712	92.1			2.57	0.44
38年目	H 71	0.1646	92.1			2.57	0.42
39年目	H 72	0.1583	92.1			2.57	0.41
40年目	H 73	0.1522	92.1			2.57	0.39
41年目	H 74	0.1463	92.1			2.57	0.38
42年目	H 75	0.1407	92.1			2.57	0.36
43年目	H 76	0.1353	92.1			2.57	0.35
44年目	H 77	0.1301	92.1			2.57	0.33
45年目	H 78	0.1251	92.1			2.57	0.32
46年目	H 79	0.1203	92.1			2.57	0.31
47年目	H 80	0.1157	92.1			2.57	0.30
48年目	H 81	0.1112	92.1			2.57	0.29
49年目	H 82	0.1069	92.1	-330.26	-35.31	2.57	0.27
合計				794.30	1405.77	123.71	38.75

単純事業費計		1124.56	123.71
--------	--	---------	--------

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。



## 費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 東広島バイパス(残事業)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.23	9.6	2.25	
-7年目	H 26	0.9615	92.1	16.94	16.29		
-6年目	H 27	0.9246	92.1	19.44	17.97		
-5年目	H 28	0.8890	92.1	21.66	19.26		
-4年目	H 29	0.8548	92.1	30.74	26.28		
-3年目	H 30	0.8219	92.1	34.96	28.73		
-2年目	H 31	0.7903	92.1	26.27	20.76		
-1年目	H 32	0.7599	92.1	22.21	16.88		
暫定供用年	H 33	0.7307	92.1	0.95	0.69	1.18	0.86
1年目	H 34	0.7026	92.1	4.76	3.34	1.18	0.83
2年目	H 35	0.6756	92.1	28.57	19.30	1.18	0.80
3年目	H 36	0.6496	92.1	42.86	27.84	1.18	0.77
4年目	H 37	0.6246	92.1	47.62	29.74	1.18	0.74
5年目	H 38	0.6006	92.1	25.57	15.36	1.18	0.71
供用開始年次	H 39	0.5775	92.1			2.14	1.24
7年目	H 40	0.5553	92.1			2.14	1.19
8年目	H 41	0.5339	92.1			2.14	1.14
9年目	H 42	0.5134	92.1			2.14	1.10
10年目	H 43	0.4936	92.1			2.14	1.06
11年目	H 44	0.4746	92.1			2.14	1.02
12年目	H 45	0.4564	92.1			2.14	0.98
13年目	H 46	0.4388	92.1			2.14	0.94
14年目	H 47	0.4220	92.1			2.14	0.90
15年目	H 48	0.4057	92.1			2.14	0.87
16年目	H 49	0.3901	92.1			2.14	0.84
17年目	H 50	0.3751	92.1			2.14	0.80
18年目	H 51	0.3607	92.1			2.14	0.77
19年目	H 52	0.3468	92.1			2.14	0.74
20年目	H 53	0.3335	92.1			2.14	0.71
21年目	H 54	0.3207	92.1			2.14	0.69
22年目	H 55	0.3083	92.1			2.14	0.66
23年目	H 56	0.2965	92.1			2.14	0.64
24年目	H 57	0.2851	92.1			2.14	0.61
25年目	H 58	0.2741	92.1			2.14	0.59
26年目	H 59	0.2636	92.1			2.14	0.56
27年目	H 60	0.2534	92.1			2.14	0.54
28年目	H 61	0.2437	92.1			2.14	0.52
29年目	H 62	0.2343	92.1			2.14	0.50
30年目	H 63	0.2253	92.1			2.14	0.48
31年目	H 64	0.2166	92.1			2.14	0.46
32年目	H 65	0.2083	92.1			2.14	0.45
33年目	H 66	0.2003	92.1			2.14	0.43
34年目	H 67	0.1926	92.1			2.14	0.41
35年目	H 68	0.1852	92.1			2.14	0.40
36年目	H 69	0.1780	92.1			2.14	0.38
37年目	H 70	0.1712	92.1			2.14	0.37
38年目	H 71	0.1646	92.1			2.14	0.35
39年目	H 72	0.1583	92.1			2.14	0.34
40年目	H 73	0.1522	92.1			2.14	0.33
41年目	H 74	0.1463	92.1			2.14	0.31
42年目	H 75	0.1407	92.1			2.14	0.30
43年目	H 76	0.1353	92.1			2.14	0.29
44年目	H 77	0.1301	92.1			2.14	0.28
45年目	H 78	0.1251	92.1			2.14	0.27
46年目	H 79	0.1203	92.1			2.14	0.26
47年目	H 80	0.1157	92.1			2.14	0.25
48年目	H 81	0.1112	92.1			2.14	0.24
49年目	H 82	0.1069	92.1	-1.26	-0.13	2.14	0.23
合計				321.29	242.31	101.37	31.15

単純事業費計		322.55	101.37
--------	--	--------	--------

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名: 東広島バイパス(事業全体)

年度 (基準年) 年次	H25	総走行台キロの年次別伸び率 (山陽7ロック)				GDP デフレータ	割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
暫定供用年	H 33	0.99714	0.99416	1.01580	0.99988	0.7307	92.1	44.74	9.60	39.15	93.49	68.32	4.46	1.05	11.37	16.87	12.33	4.49	3.28	114.86	83.93
1年目	H 34	0.99713	0.99413	1.01556	0.99988	0.7026	92.1	44.61	9.54	39.76	93.92	65.99	4.44	1.04	11.54	17.03	11.96	4.49	3.16	115.44	81.11
2年目	H 35	0.99713	0.99409	1.01532	0.99988	0.6756	92.1	44.49	9.49	40.37	94.34	63.74	4.43	1.03	11.72	17.19	11.61	4.49	3.03	116.02	78.38
3年目	H 36	0.99712	0.99406	1.01509	0.99988	0.6496	92.1	44.36	9.43	40.98	94.77	61.56	4.42	1.03	11.90	17.34	11.27	4.49	2.92	116.60	75.74
4年目	H 37	0.99711	0.99402	1.01486	0.99988	0.6246	92.1	44.23	9.37	41.59	95.19	59.46	4.41	1.02	12.07	17.50	10.93	4.49	2.81	117.19	73.19
5年目	H 38	0.99710	0.99398	1.01465	0.99988	0.6006	92.1	44.10	9.32	42.20	95.62	57.43	4.39	1.02	12.25	17.66	10.61	4.49	2.70	117.77	70.73
供用開始年次	H 39	0.99709	0.99395	1.01444	0.99988	0.5775	92.1	84.30	18.71	95.01	198.02	114.35	8.69	1.67	21.61	31.97	18.46	8.25	4.76	238.24	137.58
7年目	H 40	0.99708	0.99391	1.01423	0.99988	0.5553	92.1	84.05	18.60	96.36	199.01	110.50	8.66	1.66	21.92	32.24	17.90	8.25	4.58	239.50	132.99
8年目	H 41	0.99708	0.99387	1.01403	0.99988	0.5339	92.1	83.81	18.48	97.72	200.01	106.78	8.63	1.65	22.22	32.51	17.36	8.25	4.40	240.76	128.55
9年目	H 42	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	83.56	18.37	99.07	201.00	103.19	8.61	1.64	22.53	32.78	16.83	8.25	4.23	242.03	124.25
10年目	H 43	0.99232	0.99307	1.00117	0.99423	0.4936	92.1	82.92	18.24	99.18	200.34	98.90	8.54	1.63	22.56	32.73	16.16	8.20	4.05	241.28	119.10
11年目	H 44	0.99226	0.99302	1.00116	0.99419	0.4746	92.1	82.28	18.11	99.30	199.69	94.78	8.48	1.62	22.58	32.68	15.51	8.15	3.87	240.52	114.16
12年目	H 45	0.99220	0.99298	1.00116	0.99416	0.4564	92.1	81.64	17.99	99.42	199.04	90.84	8.41	1.61	22.61	32.63	14.89	8.11	3.70	239.77	109.43
13年目	H 46	0.99214	0.99293	1.00116	0.99413	0.4388	92.1	80.99	17.86	99.53	198.38	87.06	8.35	1.60	22.64	32.58	14.30	8.06	3.54	239.02	104.89
14年目	H 47	0.99207	0.99288	1.00116	0.99409	0.4220	92.1	80.35	17.73	99.65	197.73	83.43	8.28	1.59	22.66	32.53	13.72	8.01	3.38	238.27	100.54
15年目	H 48	0.99201	0.99282	1.00116	0.99406	0.4057	92.1	79.71	17.60	99.76	197.08	79.96	8.21	1.57	22.69	32.47	13.18	7.96	3.23	237.51	96.37
16年目	H 49	0.99195	0.99277	1.00116	0.99402	0.3901	92.1	79.07	17.48	99.88	196.42	76.63	8.15	1.56	22.71	32.42	12.65	7.91	3.09	236.76	92.37
17年目	H 50	0.99188	0.99272	1.00116	0.99398	0.3751	92.1	78.43	17.35	99.99	195.77	73.44	8.08	1.55	22.74	32.37	12.14	7.87	2.95	236.01	88.53
18年目	H 51	0.99181	0.99267	1.00115	0.99395	0.3607	92.1	77.78	17.22	100.11	195.11	70.38	8.01	1.54	22.77	32.32	11.66	7.82	2.82	235.26	84.95
19年目	H 52	0.99175	0.99261	1.00115	0.99391	0.3468	92.1	77.14	17.10	100.22	194.46	67.44	7.95	1.53	22.79	32.27	11.19	7.77	2.70	234.50	81.33
20年目	H 53	0.99168	0.99256	1.00115	0.99387	0.3335	92.1	76.50	16.97	100.34	193.81	64.63	7.88	1.52	22.82	32.22	10.74	7.72	2.58	233.75	77.95
21年目	H 54	0.99161	0.99250	1.00115	0.99384	0.3207	92.1	75.86	16.84	100.45	193.15	61.93	7.82	1.51	22.85	32.17	10.31	7.68	2.46	233.00	74.71
22年目	H 55	0.99154	0.99245	1.00115	0.99380	0.3083	92.1	75.22	16.71	100.57	192.50	59.35	7.75	1.49	22.87	32.12	9.90	7.63	2.35	232.24	71.61
23年目	H 56	0.99146	0.99239	1.00115	0.99376	0.2965	92.1	74.57	16.59	100.68	191.85	56.87	7.68	1.48	22.90	32.06	9.51	7.58	2.25	231.49	68.63
24年目	H 57	0.99139	0.99233	1.00115	0.99372	0.2851	92.1	73.93	16.46	100.80	191.19	54.50	7.62	1.47	22.92	32.01	9.13	7.53	2.15	230.74	65.77
25年目	H 58	0.99132	0.99227	1.00115	0.99368	0.2741	92.1	73.29	16.33	100.92	190.54	52.23	7.55	1.46	22.95	31.96	8.76	7.49	2.05	229.99	63.04
26年目	H 59	0.99124	0.99221	1.00114	0.99364	0.2636	92.1	72.65	16.20	101.03	189.89	50.04	7.49	1.45	22.98	31.91	8.41	7.44	1.96	229.23	60.42
27年目	H 60	0.99116	0.99215	1.00114	0.99360	0.2534	92.1	72.01	16.08	101.15	189.23	47.95	7.42	1.44	23.00	31.86	8.07	7.39	1.87	228.48	57.90
28年目	H 61	0.99108	0.99209	1.00114	0.99356	0.2437	92.1	71.36	15.95	101.26	188.58	45.95	7.35	1.43	23.03	31.81	7.75	7.34	1.79	227.73	55.49
29年目	H 62	0.99100	0.99202	1.00114	0.99352	0.2343	92.1	70.72	15.82	101.38	187.92	44.03	7.29	1.41	23.06	31.76	7.44	7.30	1.71	226.98	53.18
30年目	H 63	0.99092	0.99196	1.00114	0.99348	0.2253	92.1	70.08	15.70	101.49	187.27	42.19	7.22	1.40	23.08	31.71	7.14	7.25	1.63	226.22	50.96
31年目	H 64	0.99084	0.99190	1.00114	0.99343	0.2166	92.1	69.44	15.57	101.61	186.62	40.42	7.15	1.39	23.11	31.65	6.86	7.20	1.56	225.47	48.84
32年目	H 65	0.99075	0.99183	1.00114	0.99339	0.2083	92.1	68.80	15.44	101.72	185.96	38.73	7.09	1.38	23.13	31.60	6.58	7.15	1.49	224.72	46.81
33年目	H 66	0.99067	0.99176	1.00113	0.99334	0.2003	92.1	68.15	15.31	101.84	185.31	37.11	7.02	1.37	23.16	31.55	6.32	7.11	1.42	223.96	44.86
34年目	H 67	0.99058	0.99169	1.00113	0.99330	0.1926	92.1	67.51	15.19	101.95	184.65	35.56	6.96	1.36	23.19	31.50	6.07	7.06	1.36	223.21	42.99
35年目	H 68	0.99049	0.99162	1.00113	0.99325	0.1852	92.1	66.87	15.06	102.07	184.00	34.07	6.89	1.35	23.21	31.45	5.82	7.01	1.30	222.46	41.19
36年目	H 69	0.99040	0.99155	1.00113	0.99321	0.1780	92.1	66.23	14.93	102.19	183.35	32.64	6.82	1.33	23.24	31.40	5.59	6.96	1.24	221.71	39.47
37年目	H 70	0.99031	0.99148	1.00113	0.99316	0.1712	92.1	65.59	14.81	102.30	182.69	31.28	6.76	1.32	23.27	31.35	5.37	6.92	1.18	220.95	37.83
38年目	H 71	0.99021	0.99141	1.00113	0.99312	0.1646	92.1	64.94	14.68	102.42	182.04	29.97	6.69	1.31	23.29	31.30	5.15	6.87	1.13	220.20	36.25
39年目	H 72	0.99011	0.99133	1.00113	0.99307	0.1583	92.1	64.30	14.55	102.53	181.38	28.71	6.63	1.30	23.32	31.24	4.95	6.82	1.08	219.45	34.73
40年目	H 73	0.99002	0.99126	1.00113	0.99302	0.1522	92.1	63.66	14.42	102.65	180.73	27.51	6.56	1.29	23.34	31.19	4.75	6.77	1.03	218.70	33.28
41年目	H 74	0.98991	0.99118	1.00112	0.99297	0.1463	92.1	63.02	14.30	102.76	180.08	26.35	6.49	1.28	23.37	31.14	4.56	6.72	0.98	217.94	31.89
42年目	H 75	0.98981	0.99110	1.00112	0.99292	0.1407	92.1	62.38	14.17	102.88	179.42	25.25	6.43	1.27	23.40	31.09	4.37	6.68	0.94	217.19	30.56
43年目	H 76	0.98971	0.99102	1.00112	0.99287	0.1353	92.1	61.73	14.04	102.99	178.77	24.19	6.36	1.26	23.42	31.04	4.20	6.63	0.90	216.44	29.28
44年目	H 77	0.98960	0.99094	1.00112	0.99282	0.1301	92.1	61.09	13.92	103.11	178.12	23.17	6.29	1.24	23.45	30.99	4.03	6.58	0.86	215.69	28.06
45年目	H 78	0.98949	0.99086	1.00112	0.99277	0.1251	92.1	60.45	13.79	103.22	177.46	22.20	6.23	1.23	23.48	30.94	3.87	6.53	0.82	214.93	26.89
46年目	H 79	0.98938	0.99077	1.00112	0.99271	0.1203	92.1	59.81	13.66	103.34	176.81	21.27	6.16	1.2							

## 便益の現在価値算定表

箇所名：東広島バイパス(残事業)

年次	年度 (基準年) H25	総走行台キロの年次別伸び率 (山陽7ロック)				GDP デフレート	割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		合計 (億円)			
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
暫定供用年	H 33	0.99714	0.99416	1.01580	0.99988	0.7307	92.1	18.17	4.89	28.25	51.31	37.49	0.08	0.02	2.00	2.09	1.53	0.16	0.12	53.56	39.14
1年目	H 34	0.99713	0.99413	1.01556	0.99988	0.7026	92.1	18.12	4.86	28.69	51.67	36.30	0.08	0.02	2.03	2.13	1.49	0.16	0.11	53.95	37.91
2年目	H 35	0.99713	0.99409	1.01532	0.99988	0.6756	92.1	18.06	4.83	29.13	52.02	35.15	0.08	0.02	2.06	2.16	1.46	0.16	0.11	54.34	36.71
3年目	H 36	0.99712	0.99406	1.01509	0.99988	0.6496	92.1	18.01	4.80	29.57	52.38	34.03	0.08	0.02	2.09	2.19	1.42	0.16	0.10	54.73	35.55
4年目	H 37	0.99711	0.99402	1.01486	0.99988	0.6246	92.1	17.96	4.77	30.01	52.74	32.94	0.08	0.02	2.12	2.22	1.38	0.16	0.10	55.12	34.43
5年目	H 38	0.99710	0.99398	1.01465	0.99988	0.6006	92.1	17.91	4.74	30.45	53.10	31.89	0.08	0.02	2.15	2.25	1.35	0.16	0.10	55.51	33.34
供用開始年次	H 39	0.99709	0.99395	1.01444	0.99988	0.5775	92.1	17.74	4.74	30.45	53.10	31.89	4.30	0.66	11.69	16.65	9.61	3.92	2.26	176.83	102.12
7年目	H 40	0.99708	0.99391	1.01423	0.99988	0.5553	92.1	17.57	4.74	30.45	53.10	31.89	4.28	0.66	11.85	16.80	9.33	3.92	2.18	177.93	98.80
8年目	H 41	0.99708	0.99387	1.01403	0.99988	0.5339	92.1	17.40	4.74	30.45	53.10	31.89	4.27	0.65	12.02	16.95	9.05	3.92	2.09	179.03	95.59
9年目	H 42	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	17.23	4.74	30.45	53.10	31.89	4.26	0.65	12.19	17.10	8.78	3.92	2.01	180.13	92.47
10年目	H 43	0.99732	0.99307	1.00117	0.99423	0.4936	92.1	16.79	4.74	30.45	53.10	31.89	4.23	0.65	12.20	17.07	8.43	3.90	1.92	179.65	88.68
11年目	H 44	0.99726	0.99302	1.00116	0.99419	0.4746	92.1	16.35	4.74	30.45	53.10	31.89	4.19	0.64	12.22	17.05	8.09	3.87	1.84	179.17	85.04
12年目	H 45	0.99720	0.99298	1.00116	0.99416	0.4564	92.1	15.91	4.74	30.45	53.10	31.89	4.16	0.64	12.23	17.03	7.77	3.85	1.76	178.69	81.55
13年目	H 46	0.99714	0.99293	1.00116	0.99413	0.4388	92.1	15.47	4.74	30.45	53.10	31.89	4.13	0.63	12.24	17.00	7.46	3.83	1.68	178.22	78.21
14年目	H 47	0.99707	0.99288	1.00116	0.99409	0.4220	92.1	15.03	4.74	30.45	53.10	31.89	4.10	0.63	12.26	16.98	7.17	3.81	1.61	177.74	75.00
15年目	H 48	0.99701	0.99282	1.00116	0.99406	0.4057	92.1	14.59	4.74	30.45	53.10	31.89	4.06	0.62	12.27	16.96	6.88	3.78	1.54	177.26	71.92
16年目	H 49	0.99695	0.99277	1.00116	0.99402	0.3901	92.1	14.16	4.74	30.45	53.10	31.89	4.03	0.62	12.29	16.94	6.61	3.76	1.47	176.78	68.97
17年目	H 50	0.99688	0.99272	1.00116	0.99398	0.3751	92.1	13.72	4.74	30.45	53.10	31.89	4.00	0.61	12.30	16.91	6.34	3.74	1.40	176.30	66.13
18年目	H 51	0.99681	0.99267	1.00115	0.99395	0.3607	92.1	13.28	4.74	30.45	53.10	31.89	3.97	0.61	12.31	16.89	6.09	3.72	1.34	175.83	63.42
19年目	H 52	0.99675	0.99261	1.00115	0.99391	0.3468	92.1	12.84	4.74	30.45	53.10	31.89	3.93	0.60	12.33	16.87	5.85	3.69	1.28	175.35	60.81
20年目	H 53	0.99668	0.99256	1.00115	0.99387	0.3335	92.1	12.40	4.74	30.45	53.10	31.89	3.90	0.60	12.34	16.84	5.62	3.67	1.22	174.87	58.31
21年目	H 54	0.99661	0.99250	1.00115	0.99384	0.3207	92.1	11.96	4.74	30.45	53.10	31.89	3.87	0.60	12.36	16.82	5.39	3.65	1.17	174.39	55.92
22年目	H 55	0.99654	0.99245	1.00115	0.99380	0.3083	92.1	11.52	4.74	30.45	53.10	31.89	3.83	0.59	12.37	16.80	5.18	3.63	1.12	173.91	53.62
23年目	H 56	0.99646	0.99239	1.00115	0.99376	0.2965	92.1	11.08	4.74	30.45	53.10	31.89	3.80	0.59	12.39	16.77	4.97	3.60	1.07	173.43	51.42
24年目	H 57	0.99639	0.99233	1.00115	0.99372	0.2851	92.1	10.64	4.74	30.45	53.10	31.89	3.77	0.58	12.40	16.75	4.78	3.58	1.02	172.96	49.30
25年目	H 58	0.99632	0.99227	1.00115	0.99368	0.2741	92.1	10.20	4.74	30.45	53.10	31.89	3.74	0.58	12.41	16.73	4.59	3.56	0.98	172.48	47.28
26年目	H 59	0.99624	0.99221	1.00114	0.99364	0.2636	92.1	9.76	4.74	30.45	53.10	31.89	3.70	0.57	12.43	16.71	4.40	3.54	0.93	172.00	45.33
27年目	H 60	0.99616	0.99215	1.00114	0.99360	0.2534	92.1	9.32	4.74	30.45	53.10	31.89	3.67	0.57	12.44	16.68	4.23	3.51	0.89	171.52	43.47
28年目	H 61	0.99608	0.99209	1.00114	0.99356	0.2437	92.1	8.88	4.74	30.45	53.10	31.89	3.64	0.56	12.46	16.66	4.06	3.49	0.85	171.04	41.68
29年目	H 62	0.99600	0.99202	1.00114	0.99352	0.2343	92.1	8.44	4.74	30.45	53.10	31.89	3.61	0.56	12.47	16.64	3.90	3.47	0.81	170.56	39.96
30年目	H 63	0.99592	0.99196	1.00114	0.99348	0.2253	92.1	8.00	4.74	30.45	53.10	31.89	3.57	0.56	12.49	16.61	3.74	3.45	0.78	170.09	38.32
31年目	H 64	0.99584	0.99190	1.00114	0.99343	0.2166	92.1	7.56	4.74	30.45	53.10	31.89	3.54	0.55	12.50	16.59	3.59	3.42	0.74	169.61	36.74
32年目	H 65	0.99576	0.99183	1.00114	0.99339	0.2083	92.1	7.12	4.74	30.45	53.10	31.89	3.51	0.55	12.51	16.57	3.45	3.40	0.71	169.13	35.23
33年目	H 66	0.99567	0.99176	1.00113	0.99334	0.2003	92.1	6.68	4.74	30.45	53.10	31.89	3.47	0.54	12.53	16.54	3.31	3.38	0.68	168.65	33.78
34年目	H 67	0.99558	0.99169	1.00113	0.99330	0.1926	92.1	6.24	4.74	30.45	53.10	31.89	3.44	0.54	12.54	16.52	3.18	3.35	0.65	168.17	32.39
35年目	H 68	0.99549	0.99162	1.00113	0.99325	0.1852	92.1	5.80	4.74	30.45	53.10	31.89	3.41	0.53	12.56	16.50	3.05	3.33	0.62	167.70	31.05
36年目	H 69	0.99540	0.99155	1.00113	0.99321	0.1780	92.1	5.36	4.74	30.45	53.10	31.89	3.38	0.53	12.57	16.48	2.93	3.31	0.59	167.22	29.77
37年目	H 70	0.99531	0.99148	1.00113	0.99316	0.1712	92.1	4.92	4.74	30.45	53.10	31.89	3.34	0.52	12.58	16.45	2.82	3.29	0.56	166.74	28.55
38年目	H 71	0.99521	0.99141	1.00113	0.99312	0.1646	92.1	4.48	4.74	30.45	53.10	31.89	3.31	0.52	12.60	16.43	2.70	3.26	0.54	166.26	27.37
39年目	H 72	0.99511	0.99133	1.00113	0.99307	0.1583	92.1	4.04	4.74	30.45	53.10	31.89	3.28	0.51	12.61	16.41	2.60	3.24	0.51	165.78	26.24
40年目	H 73	0.99502	0.99126	1.00113	0.99302	0.1522	92.1	3.60	4.74	30.45	53.10	31.89	3.25	0.51	12.63	16.38	2.49	3.22	0.49	165.30	25.16
41年目	H 74	0.98991	0.99118	1.00112	0.99297	0.1463	92.1	3.16	4.74	30.45	53.10	31.89	3.21	0.51	12.64	16.36	2.39	3.20	0.47	164.83	24.12
42年目	H 75	0.98981	0.99110	1.00112	0.99292	0.1407	92.1	2.72	4.74	30.45	53.10	31.89	3.18	0.50	12.66	16.34	2.30	3.17	0.45	164.35	23.13
43年目	H 76	0.98971	0.99102	1.00112	0.99287	0.1353	92.1	2.28	4.74	30.45	53.10	31.89	3.15	0.50	12.67	16.31	2.21	3.15	0.43	163.87	22.17
44年目	H 77	0.98960	0.99094	1.00112	0.99282	0.1301	92.1	1.84	4.74	30.45	53.10	31.89	3.11	0.49	12.68	16.29	2.12	3.13	0.41	163.39	21.26
45年目	H 78	0.98949	0.99086	1.00112	0.99277	0.1251	92.1	1.40	4.74	30.45	53.10	31.89	3.08	0.49	12.70	16.27	2.04	3.11	0.39	162.91	20.38
46年目	H 79	0.98938	0.99077	1.00112	0.99271	0.1203	92.1	0.96	4.74	30.45	53.10	31.89	3.05	0.48	12.71	16.24	1.95	3.08	0.37	162.44	19.54
47年目	H 80	0.98926	0.99069	1.00112	0.99266	0.1157	92.1	0.52	4.74	30.45	53.10	31.89	3.02	0.48	12.73	16.22	1.88	3.06	0.35	161.96	18.73
48年目	H 81	0.98915	0.99060	1.00112	0.99261	0.1112	92.1	0.08	4.74	30.45	53.10	31.89	2.98	0.47	12.74	16.20	1.80	3.04	0.34	161.48	17.96
49年目	H 82	0.98903	0.99051	1.00111	0.99255	0.1069	92.1	0.00	4.74	30.45	53.10	31.89	2.95	0.47	12.76	16.18	1.73	3.02	0.32	161.00	17.22
合計								2,266.92	557.62	4,129.23	6,953.76	2,100.19	161.13	25.07	559.32	745.51	215.50	154.91	45.46	7,854.18	2,361.15

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	東広島バイパス	4/4	9.6km

## ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費		式	1	63,576	
	改良費		式	1	12,854	
		土工	m <sup>3</sup>	2,199,283	3,211	切土、盛土、購入土
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>	118,946	631	
		法面工	m <sup>2</sup>	204,641	1,133	切土法面、盛土法面、法砕工
		擁壁工	式	1	2,918	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁、扶壁式擁壁
		排水工	式	1	1,991	管渠工、函渠工、水路工、等
		中央分離帯工	m	14,007	420	
		雑工	式	1	2,550	工事用道路・技術補助等
	橋梁費		式	1	27,683	
		100m以上	m	4,883	22,190	PC橋(2橋)、ME橋(22橋)
		100m未満	m	894	5,493	PC橋(8橋)、ME橋(7橋)、OV橋(1橋)
	トンネル費		式	1	11,567	
		NATM	m	3,295	11,567	12本(上下線)
		シールド	m	0	0	
	IC・JCT費		式	1	6,320	
		IC	箇所	5	6,320	平面Y型(5箇所)
		JCT	箇所	0	0	
	舗装費		式	1	2,798	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	215,264	2,798	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	0	0	
	附帯施設費		式	1	2,354	
		交通管理施設工	式	1	1,752	標識工、防護柵工、道路照明工等
		遮音壁	m	8,343	602	
②	用地及び補償費		式	1	38,911	
	用地費		式	1	32,951	
		宅地	m <sup>2</sup>	101,680	19,434	
		田畑	m <sup>2</sup>	139,955	6,079	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	422,624	7,437	
	補償費		式	1	5,960	
③	間接経費		式	1	13,513	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				116,000	

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	東広島バイパス	4/4	9.6km

## ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	31,564	
	改良費		式	1	6,238	
		土工	m <sup>3</sup>	368,838	961	切土、盛土、捨土
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>	52,700	114	
		法面工	m <sup>2</sup>	87,903	613	切土法面、盛土法面、法砕工
		擁壁工	式	1	2,866	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁、扶壁式擁壁
		排水工	式	1	461	管渠工、函渠工、水路工、等
		中央分離帯工	m	6,140	184	
		雑工	式	1	1,039	工事用道路・技術補助等
	橋梁費		式	1	13,794	
		100m以上	m	3,049	12,188	PC橋(1橋)、ME橋(12橋)
		100m未満	m	408	1,606	PC橋(4橋)、ME橋(3橋)
	トンネル費		式	1	7,463	
		NATM	m	2,126	7,463	8本(上下線)
		シールド	m	0	0	
	IC・JCT費		式	1	1,620	
		IC	箇所	1	1,620	平面Y型(1箇所)
		JCT	箇所	0	0	
	舗装費		式	1	1,147	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	88,229	1,147	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	0	0	
	附带施設費		式	1	1,302	
		交通管理施設工	式	1	891	標識工、防護柵工、道路照明工等
遮音壁		m	5,543	411		
②用地及び補償費		式	1	51		
	用地費		式	1	51	
		宅地	m <sup>2</sup>	0	0	
		田畑	m <sup>2</sup>	0	0	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	2,230	51	
補償費	式	1	0			
③間接経費		式	1	2,246	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	
全体事業費				33,861		

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	東広島バイパス	4	9.6km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	9.6	2,100	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	10,890	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			12,990	



(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	東広島バイパス	4	9.6km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	9.6	2,028	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	8,616	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			10,644	

一般国道2号安芸バイパス  
一般国道2号東広島バイパス  
〔広島県への意見照会と回答〕

国中整企画第26号  
国中整港計第14号  
平成25年8月2日

広島県知事 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る  
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(ご依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成25年8月27日(火)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道2号安芸バイパス	継続	
一般国道2号東広島バイパス	継続	
一般国道375号東広島・呉道路	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る  
対応方針(原案)を作成するためのものです。

■ご意見の送付期限 : 平成25年8月19日(月)までをお願いします。

※様式自由

■送付先

〒730-8530

広島市中区上八丁堀6-30

中国地方整備局 企画部 企画課長 宛

■お問い合わせ先

中国地方整備局 企画部企画課

課長補佐 藤原

教習係長 松田

TEL:082-221-9231(代表)

FAX:082-227-2651

土 総 第 1 0 号

平成 2 5 年 8 月 1 9 日

中国地方整備局長 様

広 島 県 知 事  
( 土 木 総 務 課 )



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に  
係る意見照会について（回答）

平成 2 5 年 8 月 2 日 付 け 国 中 整 企 画 第 2 6 号 及 び 国 中 整 港 計 第 1 4 号 で 依 頼 の こ の こ と に つ い  
て、対応方針（原案）案については、異存ありません。

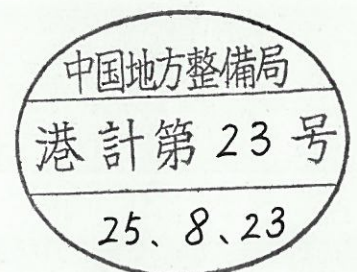
なお、個別の事業についての意見については、別紙のとおりです。

- 道路事業 一般国道 2 号 安芸バイパス
- 一般国道 2 号 東広島バイパス
- 一般国道 3 7 5 号 東広島・呉道路

担 当 経 営 戦 略 グ ル ー プ

電 話 0 8 2 - 5 1 3 - 3 8 1 6

( 担 当 者 森 山 )



## 中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）に対する意見

## 【道路事業】

事業名	一般国道2号 安芸バイパス
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	継続とする対応方針については妥当である
(具体的意見) 安芸バイパスについては、国道2号の慢性的な交通渋滞の緩和をはじめ、地域経済・産業等の発展や、広島空港へのアクセス性向上のため、早期整備が不可欠であると考えます。 今後も引き続きコストの縮減に努めながら、早期の全線供用開始に向け、計画的に整備を進めていただきたい。	
事業名	一般国道2号 東広島バイパス
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	継続とする対応方針については妥当である
(具体的意見) 東広島バイパスについては、国道2号の慢性的な交通渋滞の緩和をはじめ、地域経済・産業等の発展や、広島空港へのアクセス性向上のため、早期整備が不可欠であると考えます。 今後も引き続きコストの縮減に努めながら、早期の全線供用開始に向け、計画的に整備を進めていただきたい。	
事業名	一般国道375号 東広島・呉道路
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	継続とする対応方針については妥当である
(具体的意見) 東広島・呉道路は、広島県中央地域の地域経済・産業等の発展や広域的な交流圏の形成、さらに広島空港へのアクセス性を向上させるうえで必要不可欠な自動車専用道路ネットワークを構成する道路として、整備を着実に進める必要があると考えます。 今後も引き続きコストの縮減に努めながら、平成26年度の全線供用開始に向け、計画的に整備を進めていただきたい。	



一般国道2号安芸バイパス  
一般国道2号東広島バイパス  
〔広島市への意見照会と回答〕



国中整企画第26号  
国中整港計第14号  
平成25年8月2日

広島市長 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る  
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(ご依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成25年8月27日(火)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

(別紙)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道2号安芸バイパス	継続	
一般国道2号東広島バイパス	継続	

※貴市の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る  
対応方針(原案)を作成するためのものです。

■ご意見の送付期限 : 平成25年8月19日(月)までをお願いします。

※様式自由

■送付先

〒730-8530

広島市中区上八丁堀6-30

中国地方整備局 企画部 企画課長 宛

■お問い合わせ先

中国地方整備局 企画部企画課

課長補佐 藤原

教習係長 松田

TEL:082-221-9231(代表)

FAX:082-227-2651

広路計第24号

平成25年8月22日

中国地方整備局長 栗田 悟 様

広島市長 松井 一實  
(道路交通局道路部道路計画課)



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る意見照会について（回答）

平成25年8月2日付け国中整備企画第26号及び国中整備港計第14号で意見照会のあったこのことについては、下記のとおりです。

記

1 一般国道2号安芸バイパス

安芸バイパスの事業再評価に係る対応方針（原案）については異存ありません。

国道2号の渋滞緩和や広島空港へのアクセス強化のためにも、全線の早期供用に向けて、着実に整備を進めていただきたい。

2 一般国道2号東広島バイパス

東広島バイパスの事業再評価に係る対応方針（原案）については異存ありません。

国道2号の渋滞緩和や広島空港へのアクセス強化のためにも、海田高架橋を含む全線の早期供用に向けて、着実に整備を進めていただきたい。

